

消防年報

平成29年



亀山市消防本部
(平成30年刊行)

「 住めば、ゆうゆう。亀山 」



亀山城多門櫓



関の山車



中の山パイロット



東海道五十三次「亀山宿」



市章

平成17年1月11日に亀山市と関町が合併し、新「亀山市」が誕生しました。新市の市章には、全国各地から1,863点の作品応募があり、選考の結果、左の作品が新「亀山市」の市章に決定しました。

これは、亀山市の特徴である豊かな自然や歴史文化を守り、さらに高めていく姿を大きな山並みとして表し、曲面(ウエーブ)はときめく亀山市の限りない発展を表しています。



市の木

市の木「杉」は、野登寺の杉並木や川俣神社、片山神社のご神木の杉など、市内を代表する歴史的な背景を持つ史跡とともに、古くからなじまれてきた木です。



市の花

市の花「花しょうぶ」は、亀山公園内の菖蒲園に100種1万2千株の花が咲き誇り、毎年6月には「花しょうぶまつり」が開かれるなど、なじみ深く親しみのある花です。

はじめに

この年報は、亀山市の消防機関の組織実態等とともに、平成29年中における火災、救急・救助等の統計データを取りまとめ、市民の皆様に消防の現状についてご理解とご協力をいただくために編集しているものです。

なお、予算関係の数値は当初予算を記載し、災害統計は暦年、事業概要等は会計年度、その他は記載年月日としています。

平成30年6月

亀山市消防本部

目 次

1 概況	
(1) 亀山市の沿革	1
(2) 亀山市消防のあゆみ	2
(3) 亀山市勢・人口等に対する消防力の比較表	11
(4) 市予算と消防予算の比較表・消防予算表	12
(5) 消防庁舎の概要、消防車両等配置状況	13
(6) 消防本部(署)車両紹介	16
(7) 平成29年地区別各種災害出動件数表	18
(8) 平成29年度中における主な行事等	19
2 総務	
(1) 亀山市消防本部組織図・各組織分掌事務	20
(2) 歴代消防長一覧表	22
(3) 職員配置表	23
(4) 条例定数推移表	24
(5) 消防職員数の累年比較表	25
(6) 消防職員年令表	26
(7) 職員各種免許等取得状況表	27
(8) 平成29年度主な事業(施設・備品整備)一覧表	28
3 警防	
(1) 火災発生状況	29
(2) 10年間の火災件数・損害額等比較表	30
(3) 平成29年出火原因別火災件数表	31
(4) 平成29年月別火災状況表	32
(5) 平成29年出火時間帯別火災状況表	33
(6) 亀山市消防水利一覧表	34
(7) 平成29年度月別消防訓練指導回数表	35
4 救急	
(1) 救急出動状況	36
(2) 年別救急出動状況表	37
(3) 平成29年月別救急出動件数表	38
(4) 平成29年時間帯別救急出動件数表	39
(5) 平成29年応急処置別件数表	40
(6) 平成29年年令別搬送人員表	41
(7) 平成29年月別救命講習参加人員表	42
5 通信・指令	
(1) 通信指令業務の概要	43
(2) 平成29年月別気象状況	44
(3) 年別気象	45
6 予防	
(1) 防火対象物一覧表	46
(2) 平成29年度各種届出処理状況	47
(3) 年度別危険物製造所等の施設推移状況(完成検査済)	48
(4) 平成29年度危険物製造所等申請・届出処理状況	49
(5) 住宅用火災警報器設置済シール交付事業について	50
(6) 幼少年・女性防火委員会加入団体一覧表	51

7 消防団

(1) 消防団組織図	-----	52
(2) 歴代消防団長一覧表	-----	53
(3) 消防団員配置表	-----	54
(4) 消防団員年令表	-----	55
(5) 消防団車両等一覧表	-----	56

8 亀山市消防の歌	-----	57
-----------	-------	----

概況

亀 山 市 の 沿 革

亀山市の歴史は古く、鈴鹿の関は、越前の愛発、美濃の不破とともに日本三関と呼ばれ都と東国を結ぶ交通の要衝として栄えました。江戸時代には亀山宿、関宿、坂下宿が東海道の宿場町としてにぎわい、とりわけ、関宿は、西の追分で鈴鹿峠越えの東海道と加太越えの大和・伊賀街道へ、東の追分で東海道と伊勢別街道へ、それぞれ分岐していたため、参勤交代や伊勢参りなど、多くの旅人が往来しました。また、亀山宿は、亀山城を中心に町が形成され、現在の市街地の基礎となっています。

明治4年に廃藩置県、明治22年の新市町村制の施行に伴い戸数1,300戸、人口7,000人の亀山町が誕生、明治41年には更に1ヵ村を合併し人口も10,000人を数え、昭和29年（1954年）まで、この地域は亀山町、昼生村、井田川村、川崎村、野登村、白川村、神辺村、関町、加太村、坂下村の2町8村から構成されていました。

昭和29年10月に亀山町と昼生村、井田川村、川崎村、野登村が合併し、亀山市が新設され、その後、一部が鈴鹿市へ編入し、新たに白川村、神辺村の一部や芸濃町楠平尾を編入し、亀山市となりました。

一方、昭和30年2月に関町に白川村、神辺村の一部を編入し、昭和30年4月に関町と加太村、坂下村が合併して関町が新設され、その後、一部が伊賀町へ編入し、新たに芸濃町萩原、福徳を編入して関町となりました。

平成17年1月11日には亀山市と関町が合併し、現在の「亀山市」が誕生しました。平成の大合併としては、県内で6番目の合併となり、人口は48,670人、面積が190.91km²で、いずれも県内市町村中10番目の規模となり現在の市の行政区域として、平成20年2月21日、「5万人都市」となりました。

亀山市誕生当時の昭和30年代は、まさに亀山市の成長期でありました。戦後処理のまださめやらぬ中で、保育所の建設、失業者対策、衛生施設の整備、道路交通網の整備、教育施設の整備等、文化的な生活を営む上で基本的に必要な生活基盤の整備を推進しました。

昭和40年代の日本経済の高度成長期には、能褒野工業団地に代表される企業誘致や住宅団地の造成等によって、産業構造や市民生活が大きく変化しました。また、昭和46年の台風23・29号や昭和49年の集中豪雨等の大災害に遭遇しましたが、これらに対応すべく産業基盤の整備、上水道の敷設、福祉施設の充実等、産業の近代化と社会福祉の向上を図りつつ、昭和50年代にスポーツ施設の建設、関西本線の電化推進、街路の整備、文化施設の建設及び生活環境施設等の整備充実に取り組みました。

現在は、本市の中長期戦略となる「第2次亀山市総合計画」を策定し、将来都市像として“歴史・ひと・自然が心地よい緑の健都かめやま”を掲げ、その実現をめざし、希望と信頼の開かれた市制に向けた取り組みを進めているところです。

亀 山 市 消 防 の あ ゆ み

- 昭和24年 2月 消防組織法(昭和23年法律第226号)に基づき亀山町消防本部を設置
消防職員4名(役場兼務職員を含む)、消防ポンプ自動車1台をもって自治体消防を発足する
- 昭和26年 2月 消防本部に水槽付消防ポンプ自動車1台配置
- 昭和27年 3月 日本消防協会から表彰旗を授与
- 昭和29年 3月 消防庁長官から竿頭綬を授与
- 10月 鈴鹿郡亀山町、川崎村、野登村、井田川村、及び屋生村の5ヶ町村が合併して市制を施行し「亀山市」を発足
市制施行により、亀山町消防本部を亀山市消防本部に名称替えを、また消防団は5団制をとる
- | | | | | | |
|---------|-----|------|------|-------------|----|
| 消防本部 | 1 | 消防職員 | 3名 | 水槽付消防ポンプ自動車 | 1台 |
| 消防団 | 5 | 消防団員 | 295名 | 消防ポンプ自動車 | 3台 |
| 手引動力ポンプ | 11台 | | | | |
- 昭和30年 2月 鈴鹿郡神辺村布気、太岡寺、山下、木下及び小野の一部並びに白川村白木、小川の区域を編入合併、旧神辺村、白川村消防団に加え7団制、団員366名となる
- 5月 各地区の旧消防関係条例を廃止し、亀山市消防に関する条例施行により消防団を総合再編成する
- | | | | | |
|----------|----|------|-------------|------|
| 消防団 | 1団 | 6ヶ分団 | 消防団員 | 366名 |
| 消防団の管轄区域 | | 第1分団 | (旧亀山町、井田川村) | |
| | | 第2分団 | (旧神辺村) | |
| | | 第3分団 | (旧屋生村) | |
| | | 第4分団 | (旧川崎村) | |
| | | 第5分団 | (旧野登村) | |
| | | 第6分団 | (旧白川村) | |
- 初代消防団長に伊藤栄二郎氏が就任
- 昭和31年 6月 消防本部に消防ポンプ自動車1台配置
- 6月 第4分団(太田)、第5分団(池山)、第6分団(小川)に小型動力ポンプ各1台配置
消防本部に中短波陸上無線電話(基地局1、移動局2)設置
- 昭和32年 5月 職員1名増員
- 9月 第2分団(山下)、第3分団(中庄)に小型動力ポンプ各1台配置
- 昭和33年 8月 職員2名増員
- 昭和34年 10月 消防本部に消防ポンプ自動車1台配置
- 4月 新消防庁舎を本丸町577に建設する
昭和34年4月10日着工 昭和34年6月23日竣工
木造亜鉛鉄瓦棒葺平屋建 建築面積 208.17㎡
- 8月 職員1名増員
- 12月 消防本部に中短波陸上無線電話の移動局(1)を増設
昭和34年9月、台風15号(伊勢湾台風)による風水害の災害救助、復旧に尽力し、消防団が国務大臣(中部日本災害対策本部長)から12月9日感謝状を授与
- 昭和35年 11月 第2分団(小野)、第5分団(坂本)に小型動力ポンプ各1台配置
- 12月 消防本部に中短波陸上無線電話の移動局(1)を増設
- 昭和36年 5月 第5分団(平尾)に運搬車1台配置
- 6月 職員2名増員
- 9月 第4分団(能褒野)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ各1台配置
- 昭和37年 4月 消防本部に事務連絡用單車1台配置
- 5月 第4分団(南条)に運搬車1台配置、職員1名増員
- 10月 第3分団(三寺)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ1台配置
- 11月 職員4名増員
- 昭和38年 10月 職員1名増員
- 昭和39年 1月 消防本部に運搬車1台配置
- 3月 消防本部に小型動力ポンプ1台配置し運搬車に積載する
- 7月 職員1名増員
- 11月 消防本部に水槽付消防ポンプ自動車1台配置し消防ポンプ自動車1台を第1分団へ配置替えする
- 昭和40年 4月 消防団条例の一部改正により消防団員を317名に削減、職員2名、女子事務員1名増員
- 8月 職員1名増員
- 10月 第5分団(安楽)に小型動力ポンプ1台配置
- 昭和41年 4月 職員8名増員

- 昭和42年 8月 第2分団(太岡寺)、第6分団(白木)に運搬車各1台配置、また第4分団(田村)に小型動力ポンプ1台配置
 3月 元消防庁舎跡に鉄筋コンクリート造の新庁舎を建設
 昭和42年4月1日着工 昭和42年10月30日竣工
 4月 消防署を設置、名称を亀山市消防署とし、消防本部・署職員31名、水槽付消防ポンプ自動車2台、消防ポンプ自動車1台、職員5名増員
 8月 第3分団(中庄)に運搬車1台配置
 昭和43年 10月 亀山ライオンズクラブから気象観測計器(自記風向、風速計)の寄贈を受け、また自記雨量計、通風乾湿計等気象観測施設を設置
 3月 昭和42年3月6日に発生した国道1号鈴鹿トンネル内の車両火災に際し、その消防活動の功績に対し消防本部、消防団が三重県知事から表彰を受ける
 第4分団(南条)に小型動力ポンプ1台配置
 5月 第5分団(平尾)の運搬車更新
 9月 消防団条例の一部改正により消防団員を280名に削減
 職員1名退職
 昭和44年 4月 日本損害保険協会から「火災保険号」の寄贈を受け消防署に配置
 8月 消防署に救急自動車1台配置
 9月 政令指定により救急業務開始
 第2分団(木下)、第5分団(辺法寺)、第6分団(白木)に小型動力ポンプ各1台配置
 10月 中短波陸上無線電話(基地局1、移動局4)を超短波無線電話に全て切り替えるとともに移動局(2)を増設する 職員1名増員
 消防団長伊藤栄二郎氏の退団(死亡)
 12月 消防団長に一見忠夫氏が就任
 昭和45年 4月 職員3名増員
 6月 第4分団(徳原)に小型動力ポンプ1台配置
 7月 消防署に運搬車1台配置
 昭和46年 3月 宮西昌雄氏から寄付金を受け「空気呼吸器3基」「超短波無線電話1基」を購入し消防署に配置
 9月 消防署に携帯超短波無線電話1基配置
 12月 第2分団(中村)、第5分団(原尾)小型動力ポンプ各1台配置
 昭和47年 2月 職員1名退職
 3月 消防署に消防ポンプ自動車1台を配置し、消防署の消防ポンプ自動車1台を第1分団(本町)に配置替
 三重県消防大会(3月29日)において三重県知事から優良消防団として竿頭綬を授与
 4月 消防署に携帯用超短波無線電話2基配置 職員3名増員
 6月 第1分団(本町)、第4分団(南条)の運搬車更新
 8月 第1分団(本町)に小型動力ポンプ1台配置、運搬車に積載
 昭和48年 2月 消防署にII型化学消防自動車1台配置
 3月 成田正次、中島 高、両氏から寄付金を受け「携帯用酸素切断機1台」、「背負式消火水のう8基」を購入し消防署に配置
 4月 職員1名欠員補充
 6月 消防署に広報車(1600cc)1台配置
 9月 第3分団(三寺)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ各1台配置
 昭和49年 3月 第1分団(川合)、第6分団(小川)分団車庫新築
 4月 職員2名欠員補充
 7月 第4分団(太田)分団車庫新築
 消防本部組織を一部改正し、新しく危険物係を設置
 8月 第4分団(太田)、第5分団(池山)の小型動力ポンプ更新
 11月 三重県知事から7月未明の集中豪雨の功労に対し表彰状を授与
 昭和50年 4月 職員4名欠員補充
 5月 石井彦一郎氏から、単車(125cc)の寄贈を受け消防署に配置
 10月 三重県共済農業組合連合会から救急車(2B型)の寄贈を受け消防署に配置
 第2分団(山下)、第3分団(中庄)の小型動力ポンプ更新
 昭和51年 2月 第3分団(下庄)、第4分団(田村)分団車庫新築
 3月 第5分団(平尾)分団車庫新築、移転
 職員1名退職
 4月 職員4名欠員補充
 昭和52年 10月 第2分団(小野)、第6分団(小川)の小型動力ポンプ更新
 1月 第5分団(辺法寺)分団車庫新築
 4月 職員4名欠員補充
 職員1名退職
 8月 第4分団(能褒野)、第5分団(坂本)の小型動力ポンプ更新

- 9月 消防署に車載用超短波無線機2台配置
- 10月 第6分団(上白木)分団車庫新築
- 12月 第5分団(原尾)分団車庫増築
- 昭和53年 4月 消防長(初代専任)三宅長治氏が就任
職員4名欠員補充
- 7月 消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に庶務係、予防係、危険物係、防災係、企画係の5係を消防署に消防第一・第二係、救急通信第一・第二係の4係
- 9月 関町と亀山市との間における消防事務の事務委託に関する規約を議決
小型動力ポンプ付積載車を消防団本部(本町)、第1分団(井田川)、第5分団(平尾)に配置
小型動力ポンプ台車付1台を第3分団(下庄)に配置(更新)
- 10月 自動遠隔サイレン吹鳴装置、基地局1基、子局3基(太岡寺町、白木町、川崎町)設置
- 昭和54年 11月 日本損害保険協会から「火災保険号」の寄贈を受け消防署に配置
- 2月 事務委託に関する規約に基づき、協定書及び覚書の調印を行った
消防署にトヨタ2B型救急車配置及び移動用10W無線機を積載
- 3月 関町と亀山市との広域消防施行式を商工会館にて挙行
第4分団(南条)に分団車庫新築
- 4月 関町と亀山市との間における消防事務の事務委託業務を開始
広域消防整備計画に基づき消防職員11名を増員
- 9月 自動遠隔サイレン吹鳴装置、子局4基(井田川、昼生、平尾、池山)設置
関分署庁舎竣工式
- 10月 亀山市消防署関分署開署式挙行、分署長以下15名職員を配置し分署業務を開始
消防事務委託に関する規約及び協定書に基づき、分署の施設・備品の整備について覚書を交換し、その体制を整える
小型動力ポンプ付積載車1台を第6分団(白木)に配置、小型動力ポンプ付積載車1台を第3分団(中庄)に配置(更新)
- 昭和55年 4月 職員1名退職
- 5月 消防本部に広報車(1400cc)1台配置
- 7月 亀山市防火協会の発足
消防署に携帯用超短波無線電話5W4基配置
- 8月 災害情報等自動案内装置(機種ゼネラル)1台消防署に配置
- 10月 山林火災用軽四輪積載車(550cc)1台消防署に配置
小型動力ポンプ付積載車(B3級)2台、第2分団(太岡寺)、第4分団(南条)に配置(更新)
職員1名欠員補充
- 昭和56年 3月 第2分団(神辺)分団車庫新築
消防団長一見忠夫氏退団
- 4月 消防団長に村山守氏が就任
亀山・関地域ガス安全対策連絡協議会発足
- 5月 消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に庶務係、警防係、予防係、危険物係4係を、消防署に新たに装備係を設置
- 昭和57年 1月 亀山市消防の歌制定
- 8月 団本部に小型動力ポンプ付積載車(B3級)1台配置
第5分団(安楽)に小型動力ポンプ(B3級)1台配置
- 昭和58年 11月 関分署に水槽付消防ポンプ車(I-B型 A2級)1台配置
- 1月 消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に総務係、予防係、消防署に警防係、査察係、訓練指導係、装備係、関分署に警防係を設置
職員1名退職
- 3月 第6分団(白川、松山)分団車庫新築
- 昭和59年 11月 消防署に水槽付消防ポンプ自動車(I-B型 A2級)1台配置
- 12月 消防署に救急医療情報システム設置
- 2月 職員1名退職
- 3月 消防長三宅長治氏退職
消防署に通信指令係を設置
- 4月 消防長に下條繁氏が就任
第5分団(池山)分団車庫新築
- 昭和60年 12月 幼年消防クラブ(4クラブ)設立
- 2月 第1分団(本町)分団詰所改築工事
- 3月 第36回三重県消防大会 亀山市文化会館にて開催
職員2名退職
移動用無線機5W 2基購入
- 4月 職員2名欠員補充
消防本部組織の一部改正により、消防署に整備指導係を設置

- 消防団再編成計画により、消防団員定員280名を262名に再編成
- 昭和61年 8月 亀山関幼年婦人防火委員会設立
9月 第4分団(田村)の小型動力ポンプ(B3級)更新
10月 亀山ライオンズクラブから救急車(2B型)の寄贈を受け消防署に設置
12月 平尾婦人防火クラブ(1クラブ)設立
4月 消防団再編成計画により、消防団員定員262名を251名に再編成
5月 消防本部の広報車(1600cc)更新
6月 職員1名退職
10月 第1分団(羽若)分団車庫新築(増)
第1分団(羽若)に小型動力ポンプ付積載車(B3級)1台配置
11月 昼生地区コミュニティ消防センター新築
消防署に消防専用超短波無線機固定用10W1台配置
- 昭和62年 2月 第3分団(中庄)、第5分団(平尾)、第6分団(白木)に林野火災用軽可搬式ポンプ(D1級)各1台配置
3月 自治省消防庁から消防庁長官表彰旗を授与
カメヤマローソク(株)から消防資金として100万円寄贈(空気呼吸器資金)
4月 職員1名欠員補充
消防団再編成計画により、消防団員定員251名を243名に再編成
7月 消防署関分署に広報車(1600cc)1台配置
11月 第2分団(木下)に小型動力ポンプ(B3級)1台配置
12月 空気呼吸器150kgf/cm² 10基購入
- 昭和63年 3月 本町地区防災センター新築
第1分団(天神)分団車庫新築(積載車1台配置)
4月 消防団再編成計画により、消防団員定員243名を240名に再編成(再編成計画終決)
7月 三重県消防団長会議 亀山市文化会館にて開催
野登地区(辺法寺、原尾、安楽、池山、坂本)婦人防火クラブ(5クラブ)設立
10月 山林火災用軽四輪積載車(550cc)1台消防署に配置(更新)
第5分団(辺法寺)の小型動力ポンプ(B3級)更新
11月 第2分団(布気)分団車庫新築(増)
12月 第2分団(布気)に小型動力ポンプ付積載車(B3級)1台配置
携帯用無線機(5W)5基購入
- 平成元年 5月 関地区(市瀬)婦人防火クラブ(1クラブ)設立
8月 (財)日本消防協会から、平尾婦人防火クラブに軽可搬(D1級)1台寄贈
10月 (財)日本消防協会から、携帯用無線機10基、携帯拡声器2台の寄贈を受ける
11月 第6分団(上白木)の小型動力ポンプ(B3級)更新
防災行政用無線機を消防団積載車搭載 10基
12月 消防署の消防ポンプ自動車(CD-I型、A2級)更新
亀山3号を第1分団本町車庫に配置替え
- 平成2年 2月 (財)日本消防協会から、亀山市消防団に竿頭綬を授与
3月 第2分団(山下、木下)分団車庫新築移転
7月 職員1名退職
8月 (財)日本消防協会から救急自動車(2B型)寄贈
団本部に小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
9月 第4分団(徳原)、第5分団(原尾)の小型動力ポンプ(B3級)更新
10月 第6分団(松山)に山林火災用軽四輪積載車1台配置(増)
12月 消防署関分署の救急車(2B型)更新
- 平成3年 1月 第3分団(三寺)分団車庫新築移転
2月 消防署の化学消防ポンプ自動車(II型・A2級)更新
空気呼吸器300kgf/cm² 5基購入
3月 消防長下條繁氏退職
消防団長村山守氏退団
4月 消防長に田名瀬治好氏就任
消防団長に鈴木吉男氏就任
職員2名欠員補充
5月 消防本部の指令広報車(1800cc)更新
9月 第1分団(井田川)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
10月 第6分団(松山)の小型動力ポンプ(B3級)更新
消防署の軽可搬小型動力ポンプ(C1級)更新
- 平成4年 11月 第5分団(池山)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
1月 (社)日本自動車工業会から救急自動車(2B型)寄贈
2月 消防署の救急自動車(2B型)更新
第5分団(坂本)分団車庫新築移転

- 4月 職員1名欠員補充
7月 消防本部の指揮車(2000cc)更新
8月 第1分団(天神)、第5分団(平尾)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
平成5年 10月 第3分団(下庄)の山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
第3分団(三寺)の小型動力ポンプ(B3級)更新
12月 消防署の消防ポンプ自動車(CD-1型、A2級)更新
1月 第2分団(小野)分団車庫新築移転
関分署管内119番の本署統合、通信の一元化
3月 亀山6号を第1分団本町車庫配置替え(更新)
平成6年 9月 第3分団(中庄)、第6分団(白木)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
1月 第5分団(池山)の小型動力ポンプ(B3級)更新
3月 防災ヘリ用消防無線機(基地局・固定局)1基増設
消防無線設備周波数変更(153.55MHzを151.31MHz)
消防署救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新
救急用資器材(EOG滅菌器、気管挿入モデル、SpO₂測定器等 10点)配備
第4分団(徳原)、第5分団(安楽)分団車庫新築移転
第4分団(田村)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
第5分団(池山)の小型動力ポンプ(B3級)更新
4月 職員2名増員
6月 高規格救急車 車両機装(自動車FAX、バックアイカメラ・モニター外5点)
白川地区(小川町)小川婦人防火クラブ(1クラブ)設立
7月 消防本部、消防署機構改革 本部の消防課に企画整備係と危険物係を、消防署
に救急通信担当司令、警防担当司令と救急係を新設
救急用資器材配備(自動式人工呼吸器、自動心肺蘇生装置、在宅医療処置用セッ
ト外5点)
職員1名退職
平成7年 10月 消防庁舎移転用地無線伝播調査
11月 救急救命士資格取得1名
消防庁舎移転用地買収(野村四丁目1279-2)
12月 第2分団(布気)消防詰所増築
1月 阪神、淡路大震災に伴う出動(消火隊)
3月 消防庁舎移転用地地質調査
亀山市消防庁舎設計監理委託(梓設計)
第2分団(太岡寺)、第4分団(南条)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
消防長田名瀬治好氏退職
4月 消防長に羽田野勇喜男氏就任
消防本部の機構改革 予防課を新設
職員2名増員
6月 消防本部の防火広報車(亀山4)更新
9月 宮西祥雄氏から耐ガス密封防護服2着、複合ガス検知器1基、防毒衣3着の寄贈を
受け消防署に配備
平成8年 12月 消防庁舎新築移転工事着工
1月 第4分団(太田)の小型動力ポンプ(B3級)更新
2月 第3分団(三寺)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配備(増)
3月 第6分団(小川)分団車庫改築
4月 職員2名増員
亀山地区 楠平尾婦人防火クラブ(1クラブ)設立
5月 救急救命士資格取得1名
8月 関地区「関町スポーツ少年団」少年消防クラブ(1クラブ)設立
平成9年 12月 関分署の消防ポンプ自動車(CD-1)関1 更新
2月 第2分団(山下)の小型動力ポンプ(B3級)更新
第6分団(小川)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配備(増)及び小型動力ポ
ンプ(B3級)更新
高度救急処置シュミレーター(救急処置用人形一式、心肺蘇生用訓練人形一式)
亀山市野村四丁目1番23号に新消防庁舎建築工事完了
庁舎棟
鉄筋コンクリート造3階建
建築面積 1,683.20㎡
延べ面積 2,479.71㎡
訓練塔(主塔)
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建
建築面積 30.25㎡

- 延べ面積 90.75㎡
 訓練塔(副塔)
 鉄骨造3階建
 建築面積 29.03㎡
 延べ面積 49.52㎡
- 平成10年 3月 消防緊急通信指令施設(Ⅰ型)設置工事完了
 防災展示コーナー(消防プラザ)設置工事完了
 第4分団(能褒野)分団車庫改築
 第5分団(池山)にホース干し鉄塔建設
 職員3名退職
- 4月 亀山市消防本部、亀山消防署、新庁舎竣工運用開始
 亀山市消防本部、亀山消防署機構改革に伴い消防本部に通信指令室を新設
 関分署を関消防署に昇格、1本部2署体制とする
 職員3名欠員補充
- 5月 救急救命士資格取得1名
 6月 消防本部に事務連絡用軽四輪車1台配備(増)
 8月 消防無線機(移動局10W2台、携帯局5W8台)更新
- 10月 消防団長鈴木吉男氏退団
 11月 消防団長に葛西行弘氏が就任
 消防緊急通信指令施設指令伝送出力装置設置工事完了(市役所内2箇所に設置)
- 12月 第5分団(辺法寺)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
 第2分団(小野)、第4分団(能褒野)、第5分団(坂本)の小型動力ポンプ(B3級)更新
- 平成11年 3月 亀山消防署に救助工作車Ⅱ型1台配置(増)
 第49回三重県消防大会 亀山市文化会館にて開催
 職員1名退職
- 4月 職員1名欠員補充 1名増員
 三重県防災航空隊派遣1名
- 5月 第49回全国消防長会救急委員会 亀山市消防庁舎、亀山市文化会館にて開催
- 10月 移動体電話119番通報運用開始
- 12月 第2分団(木下)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
 第3分団(下庄)の小型動力ポンプ(B3級)更新
- 平成12年 3月 第5分団(辺法寺)ホース干し鉄塔建設
 消防長羽多野勇喜男氏退職
 職員1名退職
- 4月 消防長に三宅昭之氏就任
 亀山市消防団規則の一部改正に伴い6分団制から7分団制に組織改革
 第1分団(亀山)
 第2分団(神辺)
 第3分団(屋生)
 第4分団(川崎)
 第5分団(野登)
 第6分団(白川)
 第7分団(井田川)
 組織改革に伴い第1分団(井田川消防車庫)を第7分団(川合消防車庫)に変更
 職員1名欠員補充
- 5月 救急救命士資格取得1名
- 9月 第7分団(みどり町)分団車庫及びホース干し鉄塔新築
- 12月 消防団本部の小型動力ポンプ付積載車(亀山1)更新
 第7分団(みどり町)に小型動力ポンプ付積載車1台配置(増)
 第5分団(安楽)の小型動力ポンプ(B3級)更新
- 平成13年 2月 亀山消防署の山林火災用軽四輪積載車(亀山5)更新
- 3月 職員1名退職
- 4月 職員1名欠員補充
- 5月 救急救命士資格取得1名
- 11月 職員1名退職
- 平成13年 1月 第1分団(本町)の小型動力ポンプ付積載車1台更新
- 2月 亀山消防署の水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(亀山7)1台更新
- 3月 職員1名退職
- 4月 職員2名欠員補充
- 5月 救急救命士資格取得1名
 消防本部の指令広報車(亀山52)更新
- 11月 関消防署 救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新
- 12月 職員1名退職

- 平成14年 3月 第1分団(羽若)の小型動力ポンプ付積載車1台更新
消防長三宅昭之氏退職
職員1名退職
- 4月 消防長に米田功氏就任
職員2名欠員補充
平成14年度全国消防長会東海支部総会 亀山市文化会館にて開催
- 5月 救急救命士資格取得1名
- 平成15年 12月 亀山消防署 救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新
- 3月 関消防署新庁舎竣工運用開始
構造 木造2階建一部鉄筋コンクリート造
敷地面積 2,256.02㎡
建築面積 685.43㎡
延べ面積 781.03㎡
- 職員1名退職
- 4月 消防職員の条例定員67名を71名に改正
職員3名増員 1名欠員補充
消防団員再編成計画により、消防団員定員240名を270名に再編成
- 5月 救急救命士資格取得1名
緊急消防援助隊登録(消火隊)
- 8月 桑名郡多度町三重ごみ固形燃料(RDF)発電所火災に三重県内消防相互応援協
定に基づき出動
- 平成16年 11月 自治体消防55周年記念式典参加(東京都)
- 1月 消防本部の消防長車(亀山51)更新
- 2月 関消防署の水槽付消防ポンプ自動車(A-2)更新
- 3月 亀山消防署に30m級はしご付消防ポンプ自動車配置
ISO14001認証取得
- 4月 亀山消防署の救助工作車を関消防署へ配置替え
職員1名欠員補充
亀山市消防団規則の一部改正に伴い7分団制から8分団制に組織改革、並びに
女性消防団発足
第1分団(亀山地区北部)
第2分団(神辺地区)
第3分団(昼生地区)
第4分団(川崎地区)
第5分団(野登地区)
第6分団(白川地区)
第7分団(井田川地区)
第8分団(亀山地区南部)
- 7月 福井県福井市内において水害事故発生に伴い、緊急消防援助隊(三重県隊)として出動
- 12月 消防防災備蓄倉庫竣工
構造 鉄骨造2階建
延べ面積 163.9㎡
- 平成17年 1月 11日、亀山市と関町(1市1町)による市町村合併により新市誕生
合併に伴い、消防団組織の見直しを行い、一団制、12分団及び女性分団が発
足し、定員415名となる。
- 4月 職員2名増員
三重県消防学校教官派遣1名
- 5月 救急救命士資格取得1名
- 7月 消防本部広報車(亀山61)更新
- 平成18年 10月 移動体電話119番直接受信運用開始
- 2月 第8分団(阿野田)分団車庫及びホース干し鉄塔新築、小型動力ポンプ付き積
載車1台配置(増)
- 3月 消防長米田功氏退職
職員3名退職
- 4月 消防長に竹内清氏就任
消防職員の条例定員71名を76名に改正
職員5名採用
三重県消防学校教官派遣1名
- 平成19年 5月 救急救命士資格取得1名
- 3月 第9分団(関地区消防団詰所)積載車更新
亀山消防署 高規格救急車(救急亀山2)を更新
職員3名退職
- 4月 職員5名採用
- 5月 救急救命士資格取得1名
操法用小型動力ポンプ購入

- 平成20年
- 第4分団（田村車庫）小型動力ポンプ更新
 - 8月 第9分団（新所車庫）小型動力ポンプ付積載車購入
 - 12月 亀山消防署 消防ポンプ自動車CD-1を更新
 - 2月 新名神高速道路供用開始
 - 3月 第4分団田村車庫改築及びホース干しポール設置
職員5名退職
 - 4月 消防職員の条例定員76名を73名に改正
職員2名採用
三重県と人事交流 防災危機管理部 消防・保安室 派遣1名
三重県消防学校教官派遣1名
 - 5月 救急救命士資格取得1名
 - 6月 第12分団（加太地区消防団詰所）積載車更新
- 平成21年
- 12月 第2分団（布気車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
 - 2月 第3分団（下庄）分団車庫改築
 - 3月 化学消防ポンプ自動車（II型）を災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（II型）に更新
 - 5月 救急救命士資格取得1名
 - 12月 第11分団（沓掛車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
- 平成22年
- 第4分団（太田）分団車庫改築
 - 3月 消防緊急通信指令設備一部改修
第4分団（能褒野車庫）小型動力ポンプ付軽四輪積載車1台配置（増）
消防長竹内清氏退職
 - 4月 消防長に瀧美正行氏就任
職員1名採用
三重県防災航空隊派遣1名
 - 5月 救急救命士資格取得1名
 - 7月 消防救助技術全国大会へ派遣（2名）
 - 11月 第5分団（池山車庫）小型動力ポンプ付軽四輪積載車更新
 - 12月 関消防署指令広報車更新
- 平成23年
- 3月 東日本大震災に伴い、緊急消防援助隊（三重県隊）として出動
職員2名退職
 - 4月 職員2名採用
 - 5月 救急救命士資格取得1名
 - 7月 亀山市消防力適正配置調査の実施
 - 10月 第3分団（中庄車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
 - 12月 高規格救急車（救急関1）更新
- 平成24年
- 2月 第11分団（坂下）車庫改築
 - 3月 第6分団（松山車庫）小型動力ポンプ付軽四輪積載車更新
常備消防力適正配置調査完了
職員1名退職
 - 4月 消防職員の条例定員73名を83名に改正
職員3名増員
亀山市消防本部組織規則を改正し、北東分署建設準備室、指揮支援隊を設置
 - 5月 救急救命士資格取得2名
 - 12月 第7分団（川合車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
第10分団（萩原車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
指揮支援隊に指揮車（亀山51）を配置
- 平成25年
- 2月 亀山市消防力充実強化プラン策定
 - 3月 亀山消防署 消防ポンプ自動車CD-1を更新
第10分団（会下）車庫新築移転
職員1名退職
消防団長葛西行弘氏退団
消防団長に松尾幸夫氏が就任
職員5名採用
三重県消防学校教官派遣
消防職員意見発表会（東海地区）へ派遣（1名）
 - 5月 救急救命士資格取得2名
救急ワークステーション（試行運用開始）
 - 12月 第11分団（市場車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
- 平成26年
- 2月 第9分団（詰所）消防ポンプ自動車をCD-1に更新
 - 3月 消防指令センター高機能化更新
消防長瀧美正行氏退職
職員3名退職
 - 4月 消防長に中根英二氏就任
職員5名採用
亀山市消防本部組織規則を改正し、消防救急室を設置
 - 5月 救急救命士資格取得2名
救急ワークステーション本格運用開始

- 平成26年 6月 職員1名退職
 12月 女性分団 小型動力ポンプ付軽積載車新規導入
 第3分団（下庄車庫）小型動力ポンプ付軽積載車更新
 第8分団（天神車庫）小型動力ポンプ付普通積載車更新
- 平成27年 3月 職員3名退職
 高規格救急車2台更新（救急亀山1、救急亀山5）
 北東分署庁舎竣工
 構造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建て
 敷地面積 9,378.26㎡
 建築面積 863.98㎡
 延べ面積 832.72㎡
- 4月 職員6名採用
 職員1名退職
 北東分署運用開始
 消防救急デジタル無線（活動波）運用開始 ※共通波は三重県が整備
 北東分署の開署に伴い亀山市消防本部及び消防署の設置等に関する条例を改正し、1本部1署2分署体制に組織を改編する。
 北東分署の開署に伴い亀山市消防本部組織規則を改正し、北東分署建設準備室を廃止する。
 亀山市消防署組織を定める規程を改正し、指揮支援隊を本部から署へ配置転換する。
- 5月 救急救命士資格取得2名
 12月 第5分団（平尾車庫）小型動力ポンプ付普通積載車更新
 第10分団（木崎鳥居車庫）小型動力ポンプ付普通積載車更新
- 平成28年 3月 北東分署に小型動力ポンプ付水槽車導入
 亀山消防署に資機材搬送車導入
 職員4名退職
- 4月 職員5名採用
 再任用職員2名採用
- 5月 救急救命士資格取得1名
 6月 再任用職員1名退職
- 平成29年 1月 第6分団（白木車庫）小型動力ポンプ付普通積載車更新
 第11分団（坂下車庫）小型動力ポンプ付普通積載車更新
- 3月 職員6名退職
 4月 職員4名採用
 再任用職員2名採用
- 5月 救急救命士資格取得1名
 12月 亀山消防署 救助工作車を更新
- 平成30年 2月 第4分団（田村車庫）小型動力ポンプ付軽積載車更新
 第10分団（会下車庫）小型動力ポンプ付普通積載車更新
- 3月 消防長中根英二氏退職
 職員2名退職
- 4月 消防長に平松敏幸氏就任
 職員3名採用
 再任用職員3名採用
 三重県消防学校教官派遣
 市の組織・機構の再編による部・室制から部・課・グループ制への変更に伴い、1部8室から2部6課15グループに組織を改編する。
- 5月 救急救命士資格取得3名

亀 山 市 勢

面 積 191.04 km²
 人 口 49,599 人
 世 帯 数 21,140 世帯

(行政人口 平成30年4月1日現在)

消 防 本 部 設 置 年 月 日 昭和24年 2月11日
 亀 山 市 消 防 署 設 置 年 月 日 昭和42年 4月 1日
 亀 山 市 消 防 署 関 分 署 設 置 年 月 日 昭和54年 10月 1日
 亀 山 消 防 署 設 置 年 月 日 平成9年 4月 1日
 関 消 防 署 設 置 年 月 日 平成9年 4月 1日
 亀 山 消 防 署 関 分 署 設 置 年 月 日 平成27年 4月 1日
 亀 山 消 防 署 北 東 分 署 設 置 年 月 日 平成27年 4月 1日
 消 防 本 部 、 亀 山 消 防 署 所 在 地 三重県亀山市野村四丁目1番23号
 亀 山 消 防 署 関 分 署 所 在 地 三重県亀山市関町木崎37番地 1
 亀 山 消 防 署 北 東 分 署 所 在 地 三重県亀山市長明寺町842番地1

人 口 等 に 対 す る 消 防 力 の 比 較 表

(H30. 4. 1現在)

消 防 本 部 ・ 消 防 署	消 防 吏 員 85 名	1 名 に 対 す る	面 積	2.25 km ²
			人 口	583.52 人
			世 帯 数	248.71 世帯
	消 防 ポ ン プ 自 動 車 6 台	1 台 に 対 す る	面 積	31.84 km ²
			人 口	8,266.5 人
			世 帯 数	3,523.33 世帯

市 予 算 と 消 防 予 算 の 比 較 表

(単位 千円)

区分 年度	市予算額	消防予算額	比率 (%)	備 考
平成22年度	20,895,000	813,392	3.9	当初予算
平成23年度	19,885,000	785,404	3.9	〃
平成24年度	21,178,800	824,322	3.9	〃
平成25年度	20,945,100	1,129,643	5.4	〃
平成26年度	20,639,800	1,805,343	8.7	〃
平成27年度	20,402,500	918,050	4.5	〃
平成28年度	20,816,000	914,722	4.4	〃
平成29年度	21,064,000	917,680	4.4	〃
平成30年度	21,301,000	843,852	4.0	〃

消 防 予 算 表

(単位 千円)

区分 年度	合 計	常備消防費	非常備消防費	消防施設費
平成22年度	813,392	674,783	60,684	77,925
平成23年度	785,404	604,719	57,945	122,740
平成24年度	824,322	635,322	58,514	130,486
平成25年度	1,129,643	712,164	57,552	359,927
平成26年度	1,805,343	660,856	56,711	1,087,776
平成27年度	918,050	772,643	55,707	89,700
平成28年度	914,722	817,737	58,035	38,950
平成29年度	917,680	728,365	56,129	133,186
平成30年度	843,852	753,606	55,896	34,350

消防庁舎の概要、消防車両等配置状況

亀山市消防本部・亀山消防署

庁舎の概要	所在地	〒519-0165 三重県亀山市野村四丁目1番23号
	電話番号	0595-82-0244（代表）
	構造	鉄筋コンクリート造 3階建
	敷地面積	6,121.26㎡
	建築面積	1,683.20㎡
	延べ面積	2,479.71㎡
	竣工	平成9年4月1日
配置車両	救助工作車	1台
	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	消防ポンプ自動車	1台
	はしご付消防ポンプ自動車	1台
	小型動力ポンプ付積載車	1台
	指揮車	1台
	資機材搬送車	1台
	防災広報車	1台
	高規格救急自動車	2台（内予備車1台）
	事務連絡車等	3台
	小型動力ポンプ	2台



亀山消防署関分署

庁舎の概要	所在地	〒519-1107 三重県亀山市関町木崎37番地1
	電話番号	0595-96-1780
	構造	木造2階建一部鉄筋コンクリート造
	敷地面積	2,256.02㎡
	建築面積	685.43㎡
	延べ面積	781.03㎡
	竣工	平成15年3月20日
配置車両	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	化学消防ポンプ自動車	1台
	指令広報車	1台
	高規格救急自動車	1台



亀山消防署北東分署

庁舎の概要	所在地	〒519-0214 三重県亀山市長明寺町842番地1
	電話番号	0595-84-1096
	構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建
	敷地面積	9,378.26㎡
	建築面積	863.98㎡
	延べ面積	832.72㎡
	竣工	平成27年3月10日
配置車両	消防ポンプ自動車	1台
	高規格救急自動車	1台
	小型動力ポンプ付積載軽四輪車	1台
	小型動力ポンプ付水槽車	1台



消 防 本 部 (署) 車 両 紹 介

はしご付消防ポンプ自動車

年式 平成16年

油圧駆動式のはしごを最大30mまで伸ばすことが可能で、はしご先端から放水活動や高層建物での人命救助活動などを行います。



化学消防ポンプ自動車

年式 平成21年

消火用の水に、圧縮空気と消火原液を混ぜて、発泡させる装置があり、泡を作りだし、空気を遮断し消火します。高速道路等の水利確保が困難な所でも少ない水量で消火できます。



水槽付消防ポンプ自動車

年式 平成13年

2000ℓの水を積載し、水利の確保が困難な場所や、高速道路等などの場合でも消火活動を行うことができます。



消防ポンプ自動車

年式 平成24年

水槽付消防ポンプ自動車が進입困難な道路狭隘地域に容易に進入することが可能で、早期に火災現場直近の水利を確保し、放水体制を整えることが可能です。



救助工作車

年式 平成29年

あらゆる災害において人命救助活動に対応可能な車両で、電動ウィンチ、照明、クレーンなどを装備しています。また、各種救助用資器材を積載しています。



高規格救急車

年式 平成27年

従来の救急車の装備に加え、高度救急資器材を積載し、救命処置が行えるようになっています。また、防振ベッドを搭載し、悪路でも振動を軽減します。



消 防 本 部 (署) 車 両 紹 介

指揮車

年式 平成24年

災害現場において隊員の安全管理や指揮を行います。車内には指揮盤、パソコンやプリンターなどが積載されており、情報収集や関係機関との連絡等を行います。



防災広報自動車

年式 平成17年

災害時に出動し、地域住民の人たちに必要な情報などを知らせるための自動車です。災害出動時以外は、火災予防の広報などに使用します。



小型動力ポンプ付水槽車

年式 平成28年

水利の確保が困難な場所や高速道路など、消火活動を行うための大量の水を確保・供給することができます。



指令広報車

年式 平成22年

災害時に各種機関との連携や調整を行い指令を出すための自動車です。災害出場以外では、立入検査、火災予防の広報などに使用します。



資機材搬送車

年式 平成28年

各種災害に対し、大量の消防資機材を搬送することができます。災害出動時以外には、大型資材などの搬送に使用します。



- ・小型動力ポンプ付積載車
- ・小型動力ポンプ付積載軽四輪車
- ・小型動力ポンプ

は56頁「消防団車両」を参照

平成 29 年 地区別 各種 出動 件数 表

地区別 種別		地区別											
		合計	亀山	井田川	神辺	昼生	川崎	野登	白川	関	坂下	加太	その他 (※1)
火災	合計	27	10	1	3		1	4	1	5			2
	建物	6	3					1		2			
	林野												
	車両	9	3		2			2					2
	その他 (※2)	12	4	1	1		1	1	1	3			
救急	合計	2,281	871	412	144	55	255	88	67	258	60	52	19
	火災	6	3		1			2					
	自然災害												
	水難	1		1									
	交通	247	71	42	21	8	31	18	4	18	3	15	16
	労働災害	38	8	5	2		7	3	5	6	2		
	運動競技	5	2				1			2			
	一般負傷	352	126	62	22	6	38	18	11	57	4	7	1
	加害	5	1	1	1				1	1			
	自損行為	22	9	3		3	2	2		3			
	急病	1,456	517	291	97	38	173	45	46	167	51	30	1
その他 (※3)	149	134	7			3			4			1	
救助	合計	31	7	2		1	1	7	1	4		5	3
	交通	17	4			1	1	2		2		5	2
	建物	1		1									
	その他 (※4)	13	3	1				5	1	2			1
その他	合計	254	76	35	25	9	40	19	5	23	4	8	10
	警戒	14	6	1	1		2			3		1	
	誤報	18	6	1	1	2	4		1	1			2
	水防												
	その他 (※5)	222	64	33	23	7	34	19	4	19	4	7	8

(※1) 高速道路などの市外、県外の管轄区域

(※2) 枯草火災など

(※3) 転院搬送など

(※4) 機械による事故など

(※5) 救急隊の活動支援など

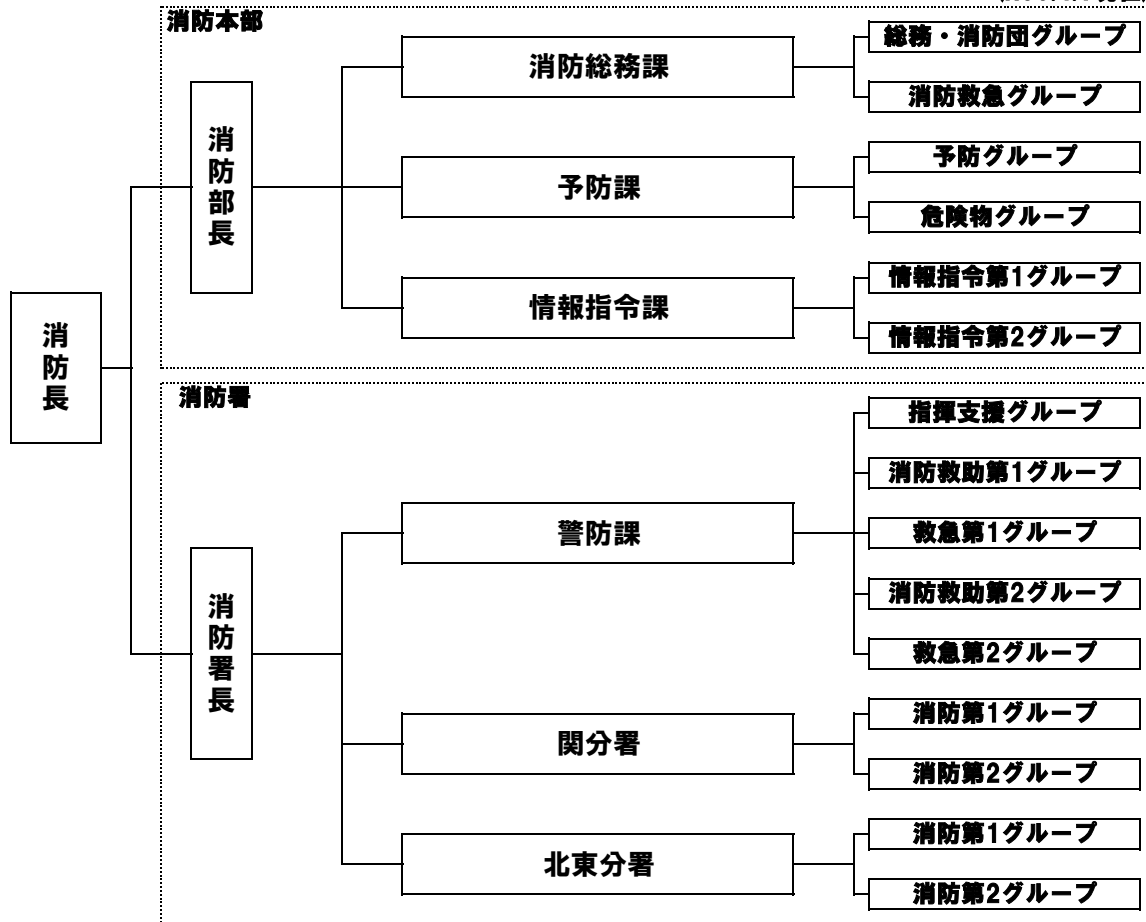
平成 2 9 年 度 中 に お け る 主 な 行 事 等

年	月	日	内 容
平成 2 9 年	4	3	職員辞令交付式（消防庁舎）
		6	亀山市消防団辞令交付式（消防庁舎）
		15	亀山市少年消防クラブ入会式（消防庁舎）
		22	危険物取扱者試験予備講習会（消防庁舎）
		27	亀山市防火協会理事会（消防庁舎）
	5	19	亀山市幼少年・女性防火委員会（消防庁舎）
		26	亀山市防火協会総会（北東分署）
		28	亀山市水防訓練（亀山市）
	7	2	亀山市消防操法大会（北東分署）
		18・19	緊急自動車機関員養成研修（大型車）（消防庁舎・北東分署）
		26	消防救助技術東海地区指導会（県消防学校）
		29・30	甲種防火管理者資格取得講習会（消防庁舎）
	8	21	消防長査閲警防活動訓練（消防庁舎）
	9	7	救急医療市民講座（北東分署）
	10	6	三重県内高速道路消防連絡協議会総合消防訓練（三重県）
		7	危険物取扱者試験予備講習会（消防庁舎）
		13	三重県警防技術交換会（県消防学校）
	11	4	防火フェア（亀山市文化会館）
		17・18	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練（岐阜県）
	12	5・14	緊急自動車機関員養成研修（普通車）（亀山署）
平成 3 0 年	1	7	亀山市消防出初式（亀山西小学校）
		15	市長査閲消防訓練（消防庁舎）
		28	文化財防火デー消防訓練（慈恩寺）
	2	17	亀山市関宿伝統的建造物群保存地区消防訓練（関郵便局周辺）
		20・21	職場内研修（消防庁舎）
		22	社会福祉施設消防訓練（いちごいちえ）
		26	亀山市消防救急技術研鑽会（消防庁舎）
	3	18	亀山市少年消防クラブ修了式（消防庁舎）
		20	多数傷病者訓練（消防庁舎）

総務

亀山市消防本部組織図

(H30.4.1現在)



各組織分掌事務

《 消防本部 》

消防総務課

総務・消防団グループ

- (1) 組織、消防行政の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 消防施設等の整備計画に関すること。
- (3) 式典及び諸行事の企画及び運用に関すること。
- (4) 財産の管理及び処分に関すること。
- (5) 消防団に関すること。
- (6) 消防団員の身分及び諸給与に関すること。
- (7) 消防団員の災害補償、賞金等に関すること。
- (8) 消防職員及び消防団員の研修教養に関すること。
- (9) 消防職員及び消防団員の被服等の賞与に関すること。
- (10) 消防職員及び消防団員の福利厚生に関すること。
- (11) 消防職員の進退、配置、賞罰その他身分に関すること。
- (12) 予算の調整及び執行並びに経理に関すること。
- (13) 例規及び文書に関すること。
- (14) 表彰に関すること。
- (15) 公印の保管に関すること。
- (16) 公務証票に関すること。
- (17) 他の課の所管に属さない事項

消防救急グループ

- (1) 消防業務及び救急業務に関する企画及び調整に関すること。
- (2) 災害の応援、受援及び協力に関すること。
- (3) 救急業務の高度化推進に関すること。
- (4) 医療機関等との連携調整に関すること。
- (5) 救急業務に関する消防職員の訓練及び技術の指導に関すること。
- (6) 救急救命士の育成に関すること。
- (7) 救急に関する広報に関すること。
- (8) 救急統計及び救助統計に関すること。
- (9) 予算の調整及び執行に関すること。
- (10) 自動体外式除細動器の設置啓発及び使用に関すること。
- (11) 消防出初式及び消防操法大会に関すること。
- (12) 刊行物等の発行に関すること。
- (13) 防火診断の企画及び運用に関すること。

予防課

予防グループ

- (1) 火災予防に関すること。
- (2) 建築確認等の同意に関すること。
- (3) 開発行為に係る協議及び同意に関すること。
- (4) 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- (5) 防火管理に関すること。
- (6) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (7) り災証明に関すること。
- (8) 火を使用する施設等の届出の処理に関すること。
- (9) 火災及び予防の統計に関すること。
- (10) 防火協力団体に関すること。
- (11) 少年消防クラブに関すること。

危険物グループ

- (1) 危険物の規制に関すること。
- (2) 危険物製造所等の許可、認可及び検査に関すること。
- (3) 危険物取扱者、危険物保安監督者等に関すること。
- (4) 少量危険物及び指定可燃物の届出の処理に関すること。
- (5) 高圧ガス、火薬等の保安に関すること。
- (6) 液化石油ガス器具、ガス用品等の安全に関すること。
- (7) 危険物製造所等の事故調査及び報告に関すること。
- (8) 危険物等協力諸団体に関すること。

情報指令課

情報指令第1、第2グループ

- (1) 災害情報の収集に関すること。
- (2) 出動指令に関すること。
- (3) 防災関係機関等との連絡調整に関すること。
- (4) 消防通信の運用及び統制に関すること。
- (5) 気象情報に関すること。
- (6) 火災警報に関すること。
- (7) 通信機器等の維持管理に関すること。
- (8) 通信指令に係る調査研究に関すること。

《 消 防 署 》

警 防 課

指 揮 支 援 グ ル ー プ

- (1) 災害現場における現場指揮に関すること。
- (2) 災害現場における各種情報の収集及び伝達に関すること。
- (3) 災害現場の広報に関すること。
- (4) 災害現場の支援に関すること。
- (5) 軽易な火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (6) 災害出動後の活動の検証に関すること。
- (7) 特殊な建築物及び工作物の警防計画に関すること。
- (8) 特殊工作物の非常用施設に関すること。
- (9) 警防査察等に関すること。
- (10) 消防職員及び消防団員の安全管理に関すること。
- (11) 消防職員及び消防団員の訓練の企画及び運用に関すること。
- (12) 自治会等の訓練指導の調整に関すること。
- (13) 枯草等の調査及び防火指導に関すること。
- (14) 消防技術等の向上に関すること。

消 防 救 助 第 1、第 2 グ ル ー プ

- (1) 水火災その他災害の警戒及び防衛に関すること。
- (2) 救助活動に関すること。
- (3) 水火災等の活動記録に関すること。
- (4) 消防職員及び消防団員の訓練の実施に関すること。
- (5) 自治会等の訓練指導の実施に関すること。
- (6) 消防水利施設等の管理、保全及び点検及び地理調査に関すること。
- (7) 車両、機械器具等の点検及び整備に関すること。
- (8) 警防に関する各種届出に関すること。
- (9) 防火診断の実施に関すること。
- (10) 軽易な火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (11) 課の庶務に関すること。

救 急 第 1、第 2 グ ル ー プ

- (1) 救急活動に関すること。
- (2) 救急指導及び応急手当の普及に関すること。
- (3) 救急業務に係る記録に関すること。
- (4) 救急資器材等の点検、整備及び運用に関すること。
- (5) 救急搬送証明に関すること。

関 分 署 及 び 北 東 分 署

消 防 第 1、第 2 グ ル ー プ

- (1) 水火災その他災害の警戒及び防衛に関すること。
- (2) 救急及び救助活動に関すること。
- (3) 救急指導及び応急手当の普及に関すること。
- (4) 水火災及び救急業務の活動記録に関すること。
- (5) 消防職員の訓練の実施に関すること。
- (6) 自治会等の訓練指導の実施に関すること。
- (7) 防火診断、枯草等の調査及び防火指導の実施に関すること。
- (8) 警防に関する各種届出に関すること。
- (9) 車両、機械器具、救急用資器材等の点検及び整備に関すること。
- (10) 消防水利施設等の点検及び地理調査に関すること。
- (11) 軽易な火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (12) 分署の庶務に関すること。

歴 代 消 防 長 一 覧 表

氏 名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
三 宅 長 治	大正12年1月22日	昭和53年4月2日	6年
		昭和59年3月31日	
下 條 繁	昭和3年4月1日	昭和59年4月3日	7年
		平成3年3月31日	
田 名 瀬 治 好	昭和8年1月10日	平成3年4月3日	4年
		平成7年3月31日	
羽 多 野 勇 喜 男	昭和10年5月9日	平成7年4月3日	4年
		平成11年3月31日	
三 宅 昭 之	昭和15年3月27日	平成11年4月5日	3年
		平成14年3月31日	
米 田 功	昭和18年12月22日	平成14年4月4日	4年
		平成18年3月31日	
竹 内 清	昭和22年1月2日	平成18年4月2日	4年
		平成22年3月31日	
渥 美 正 行	昭和26年2月2日	平成22年4月2日	4年
		平成26年3月31日	
中 根 英 二	昭和30年3月11日	平成26年4月2日	4年
		平成30年3月31日	
平 松 敏 幸	昭和35年4月29日	平成30年4月1日	0年
		現在に至る	

※昭和52年度以前は市長兼務

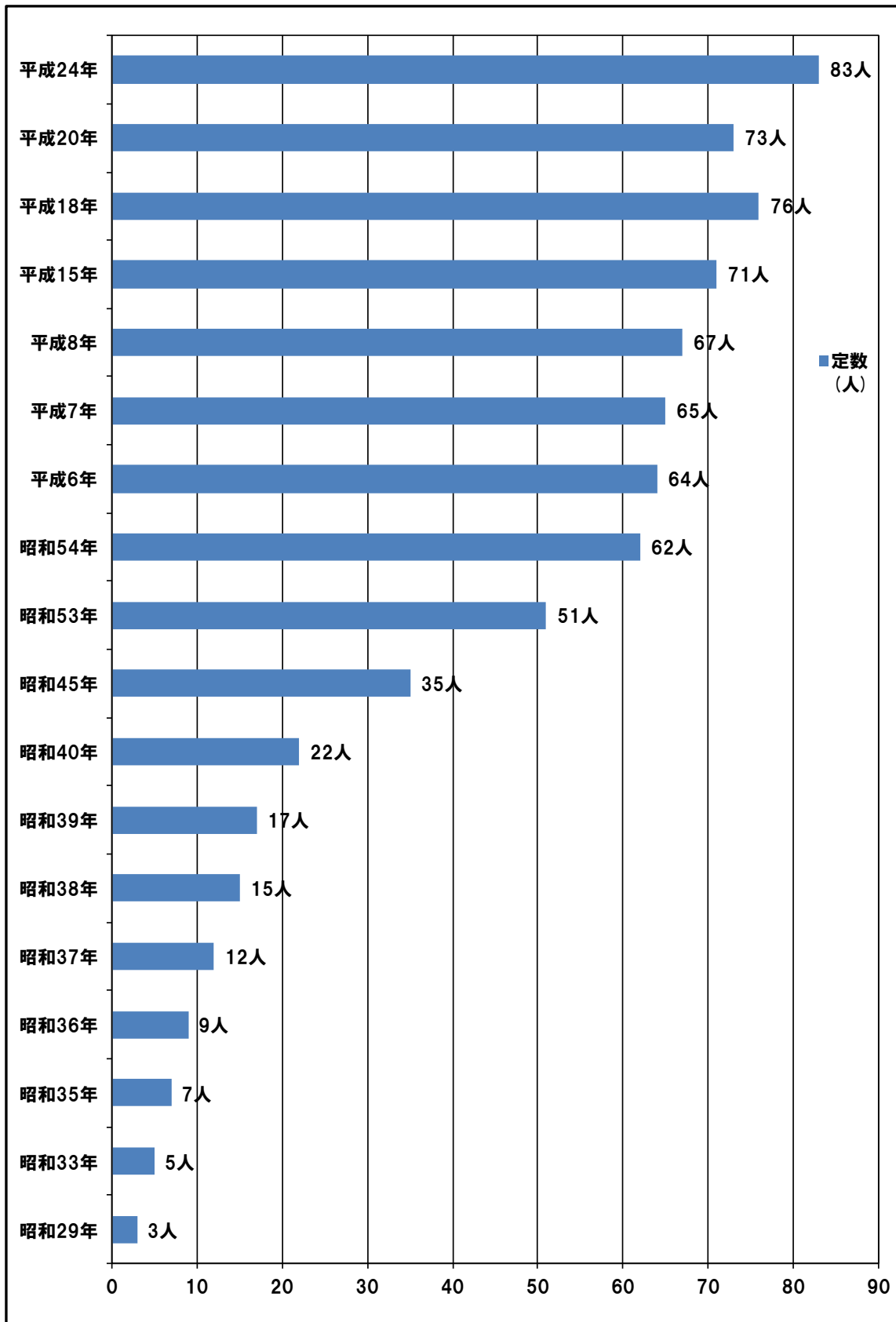
職 員 配 置 表

(H30.4.1現在)

階級別 所属別		合 計	消 防 吏 員							
			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
職 員 数		85	1	8	15	23	17	0	21	
消 防 本 部	消防長 兼 消防部長		1	1						
	消防総務課	課 長		1	1					
		総務・消防団G	G L		1		1			
			グループ員		4		1	2		1
			消防総務課付 三重県消防学校教官派遣		1			1		
			消防総務課付 三重県消防学校初任科派遣		3					3
			消防総務課付 防災安全課出向		2		1			1
			消防救急G		1			1		
		グループ員		2			2			
	予防課	課 長		1		1				
		予防G	G L		1			1		
			グループ員		1				1	
		危険物G	G L		1		1			
			グループ員		1					1
	情報指令課	課 長		1		1				
		情報指令第12GG	G L		2		1	1		
			グループ員		6			2	3	1
	消 防 署	消防署長		1		1				
		警防課	課 長		1		1			
			警防課	G L		5		4	1	
グループ員				22		3	4	9	6	
関分署		分署長		1		1				
		消防第12GG	G L		1		1			
			グループ員		11		1	4	2	4
北東分署		分署長		1		1				
		消防第12GG	G L		2		1	1		
			グループ員		10			4	2	4

※Gはグループの略、GLはグループリーダーの略

条 例 定 数 推 移 表



消 防 職 員 数 の 累 年 比 較 表

(H30.4.1現在)

階級別 年別	合 計	消 防 吏 員								事 務 吏 員
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
平成7年	65		1	5	9	12	23	7	7	1
平成8年	67		1	5	9	12	23	7	9	1
平成9年	67	1		5	8	12	26	2	12	1
平成10年	68	1		5	8	12	27	1	13	1
平成11年	68	1	1	4	8	12	28	1	12	1
平成12年	68	1	1	4	8	12	28		13	1
平成13年	67	1	1	4	8	12	29		12	
平成14年	68	1	1	4	8	19	23		11	1
平成15年	70	1	1	4	8	21	22		13	
平成16年	71	1	1	7	8	21	22		11	
平成17年	73	1	1	7	9	25	18		12	
平成18年	74	1	2	6	7	25	18		15	
平成19年	76	1	1	6	8	24	17		19	
平成20年	73	1	1	6	7	23	16		19	
平成21年	73	1	1	6	10	20	17		18	
平成22年	74		1	8	11	22	15		17	
平成23年	74		1	8	9	26	16		14	
平成24年	77		1	10	10	28	14		14	
平成25年	80		1	10	10	29	14		16	
平成26年	82		1	10	12	27	16		16	
平成27年	84		1	11	12	23	17		20	
平成28年	86		1	11	11	23	17		23	
平成29年	85		1	10	12	21	16		25	
平成30年	85		1	8	15	23	17		21	

消 防 職 員 年 令 表

(H30.4.1現在)

階級別 年令別	合 計	職 員 年 令 表						
		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	85	1	8	15	23	17	0	21
平 均	36.9	57.0	55.3	44.3	39.6	33.0		23.9
18歳	1							1
19歳	1							1
20歳	1							1
21歳	5							5
22歳	2							2
23歳	3							3
24歳	1							1
25歳	2					1		1
26歳	3					2		1
27歳	3					3		
28歳	1					1		
29歳	3					1		2
30歳	2					2		
31歳	4					2		2
32歳	3				1	1		1
33歳	3				3			
34歳	4				3	1		
35歳	2				2			
36歳	3				3			
37歳	4				3	1		
38歳	0							
39歳	2			1	1			
40歳	3			3				
41歳	1			1				
42歳	4			1	3			
43歳	3			3				
44歳	1			1				
45歳	2			2				
46歳	1			1				
47歳	0							
48歳	0							
49歳	1				1			
50歳	1		1					
51歳	1		1					
52歳	1		1					
53歳	0							
54歳	0							
55歳	0							
56歳	0							
57歳	8	1	3	2	2			
58歳	0							
59歳	2		2					
60歳	1					1		
61歳	2				1	1		

職員各種免許等取得状況表

(H30.4.1現在)

資格別		階級別	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
計			612	5	60	133	205	118	0	91
大型特殊自動車免許			13			2	10			1
けん引自動車免許			2			1	1			
大型自動車免許			57	1	8	15	23	9		1
中型自動車免許			30		1	3	12	11		3
普通自動車免許			85	1	8	15	23	17		21
自動二輪車免許			27		4	5	11	6		1
危険物取扱者 乙4			59		2	8	18	17		14
高圧ガス製造保安責任者			0							
無線	特殊無線技士1級陸上		0							
	特殊無線技士2級陸上		80	1	8	15	23	17		16
	アマチュア無線技士		3		1		2			
小型移動式クレーン資格			72	1	7	12	22	16		14
玉掛け			77	1	8	15	22	17		14
消防設備士	甲種		0							
	乙種		1				1			
衛生管理者	1種		3			2	1			
	2種		6		1	3	2			
ボイラー技士	1級		0							
	2級		0							
一般毒物劇物取扱者			0							
火薬類取扱保安責任者			1				1			
ガス溶接技能者			39		3	13	18	4		1
フォークリフト			6				2	1		3
電気工事士			4		1		1			2
車両系建設機械			3			1	2			
特定化学物質作業主任者			13		3	9	1			
救急救命士			21		2	11	7	1		
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者			10		3	3	2	2		

平成29年度主な事業（施設・備品整備）一覧表

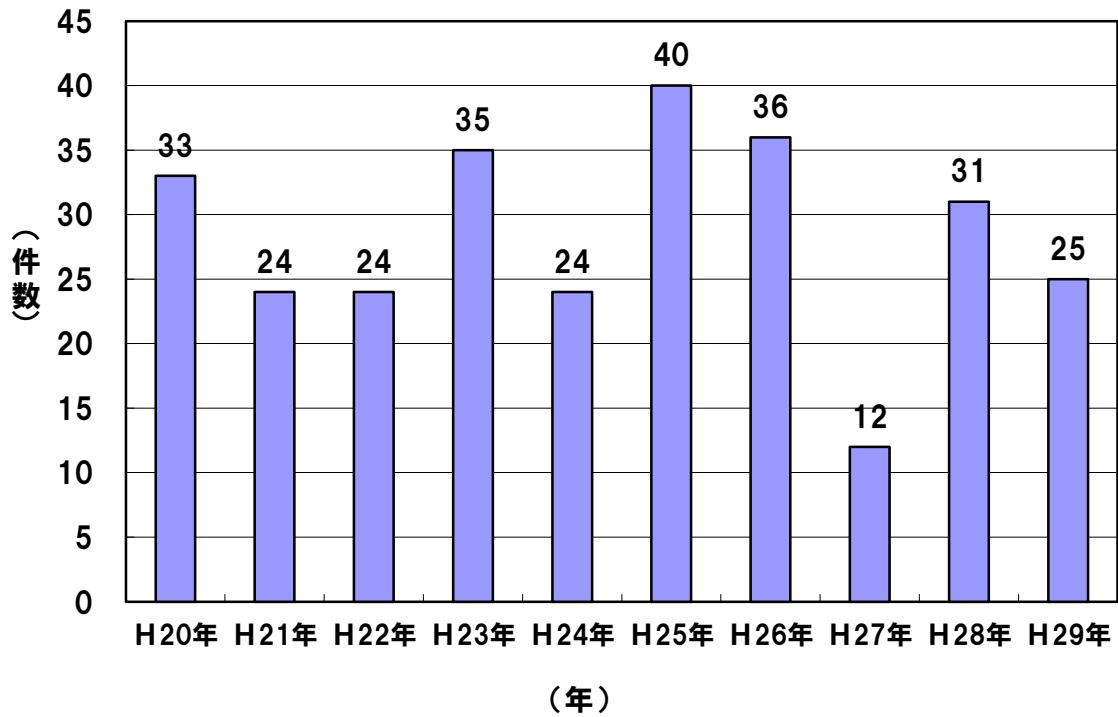
主 な 事 業 名	内 容
<p>緊急防災事業</p> <p>○防火水槽新設工事</p> <p>○車両等更新</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40m³級耐震性防火水槽1基 (関町小野) ・ 救助工作車II型 更新 ・ 消防団第4分団田村車庫 小型動力ポンプ付軽積載車 更新 ・ 消防団第10分団会下車庫 小型動力ポンプ付普通積載車 更新
<p>市単独事業</p> <p>○消防庁舎修繕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀山消防庁舎 床タイル修繕 ・ 関消防庁舎 自動扉開閉装置修繕 ・ 関消防庁舎 空調機修繕
<p>○消火栓設置等工事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置 14基 ・ 修繕 1基
<p>○自治会消防用設備 設置費補助事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消火栓ボックス等 11自治会

警

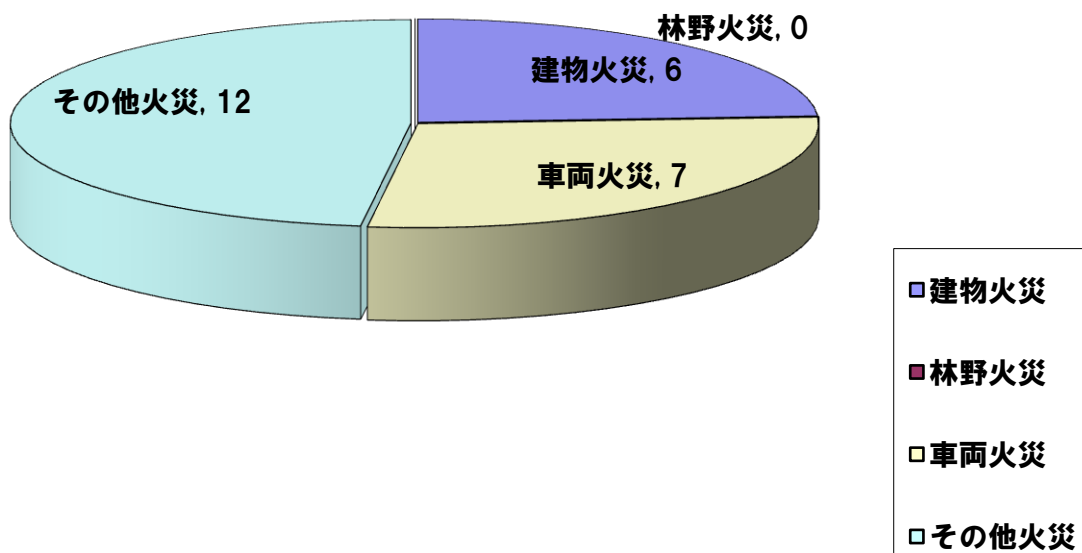
防

火 災 発 生 状 況

過去10年間の火災件数



平成29年火災種別



10年間の火災件数・損害額等比較表

区分 年 別	火 災 件 数					焼 損 面 積		死 傷 者		損害額(千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)	死 者	負 傷 者	
平成20年	33	19	1	7	6	619	2	0	4	34,403
平成21年	24	4	2	9	9	6	2	0	0	4,313
平成22年	24	7	1	7	9	260	1	0	2	37,948
平成23年	35	9	1	6	19	742	4	1	3	16,672
平成24年	24	9	0	8	7	750	0	3	1	56,888
平成25年	40	7	2	9	22	1,309	3	1	4	20,106
平成26年	36	11	3	11	11	762	20	3	2	60,596
平成27年	12	2	2	4	4	12	1	0	0	1,153
平成28年	31	9	1	6	15	643	6	1	2	43,928
平成29年	25	6	0	7	12	891	0	0	3	64,274

平成 29 年 出 火 原 因 別 火 災 件 数 表

原因別	月 別												
	合 計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
合 計	25	1	0	7	3	1	4	1	1	4	3	0	0
たばこ	2						1	1					
こんろ	1										1		
かまど	0												
風呂かまど	0												
炉	0												
焼却炉	0												
ストーブ	0												
こたつ	0												
ポイラー	0												
タイヤの摩擦	0												
排気管	0												
電気機器	0												
電気装置	1									1			
電灯・電話等の配線	0												
内燃機関	0												
電灯の安定器	0												
火あそび	0												
マッチ・ライター	0												
たき火	3			1	1					1			
溶接機・切断機	0												
煙火	0												
衝突の火花	2						1				1		
枯草焼き	5	1		1		1			1	1			
自然発火	0												
放火	0												
放火の疑い	1			1									
その他	9			4	2		2			1			
不明	1										1		

平成 2 9 年 月 別 火 災 状 況 表

区分 月別	出火件数					焼損面積		死傷者			損害額 (千 円)				
	合計	建物	林野	車両	その他	建物 (m ²)	林野 (a)	死者	負傷者	り災世帯	合計	建物	林野	車両	その他
合計	25	6	0	7	12	891	0	0	3	17	64,274	58,082	0	6,192	0
1月	1				1						0				
2月	0										0				
3月	7	2		2	3	5					5,257	7		5,250	
4月	3				3						0				
5月	1				1						0				
6月	4	3			1	886			3	14	57,657	57,657			
7月	1				1						0				
8月	1				1						0				
9月	4			3	1						407	407			
10月	3	1		2		0				3	953	11		942	
11月	0										0				
12月	0										0				

平成29年出火時間帯別火災状況表

区分 時間帯別	火災件数					焼損面積		死傷者		損害額(千円)
	合計	建物	林野	車両	その他	建物(m ²)	林野(a)	死者	負傷者	
合計	25	6	0	7	12	891	0	0	3	64,274
0~1	0									
1~2	0									
2~3	0									
3~4	0									
4~5	1				1					
5~6	0									
6~7	0									
7~8	0									
8~9	1				1					
9~10	1	1				886			3	57,639
10~11	0									
11~12	1	1								13
12~13	1				1					
13~14	3				3					
14~15	2	1		1		1				88
15~16	5	1		1	3					177
16~17	2			1	1					950
17~18	1				1					
18~19	2	1			1					5
19~20	1			1						155
20~21	1			1						613
21~22	0									
22~23	0									
23~24	3	1		2		4				4,634
不明	0									

龜 山 市 消 防 水 利 一 覽 表

H30.4.1現在

区 分		地区別	合 計	龜 山	井 田 川	神 辺	昼 生	川 崎	野 登	白 川	関	加 太	坂 下
		合 計	2,109	607	303	143	81	245	136	122	359	104	31
消 火 栓	配 管 径	小 計	1,673	509	250	118	58	188	103	102	257	67	21
		50mm	15	6			3		1		3	1	1
		75mm	667	196	96	39	20	71	44	18	124	47	12
		100mm	380	92	52	25	13	50	34	33	61	16	4
		125mm	5								5		
		150mm	348	124	65	13	20	35	22	32	31	3	3
		200mm	97	36	9		2	9		7	33		1
		250mm	45	22	5	12				2	4		
		300mm	50	6	12	25		7					
		350mm	38	15	11	4				8			
		400mm	19	8					11				
		450mm	9	4					5				
防 火 水 槽	公 設	小 計	436	98	53	25	23	57	33	20	80	37	10
		20m ³ 未満	37	3	5	2		4	4	2	9	8	
		20m ³ 以上～ 40m ³ 未満	106	15	6	7	6	17	9	6	22	14	4
		40m ³ 以上～ 60m ³ 未満	278	70	41	16	17	36	20	12	47	14	5
		60m ³ 以上～ 100m ³ 未満	6	5									1
		100m ³ 以上	9	5	1						2	1	

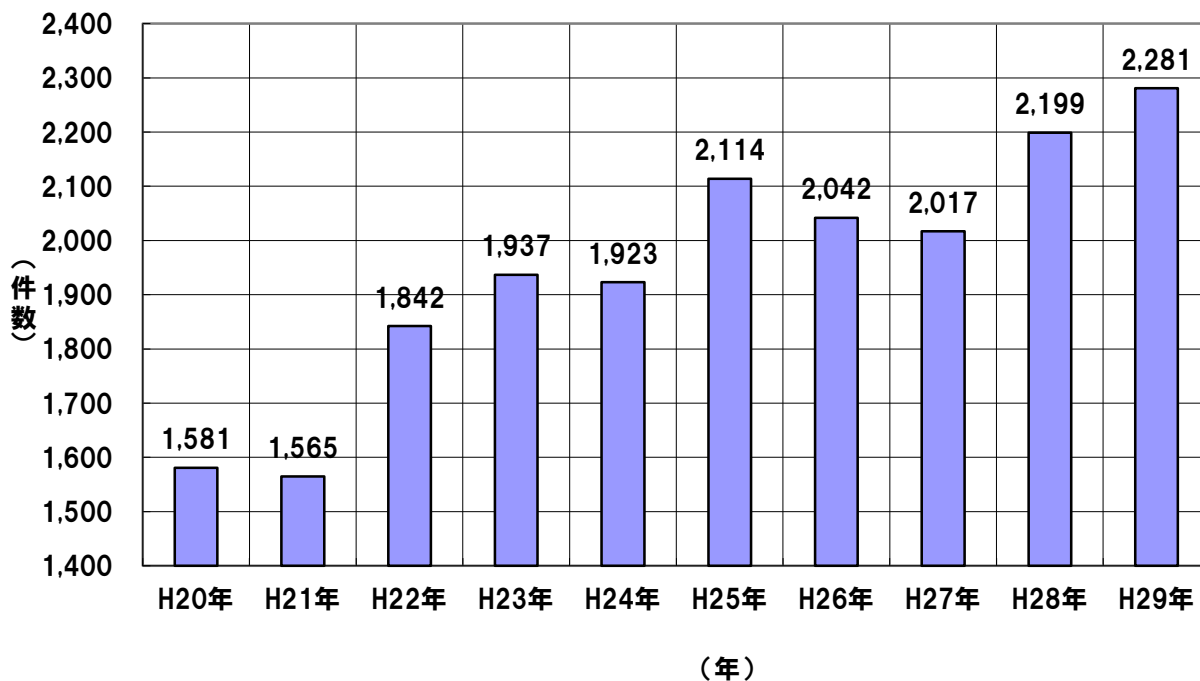
平成 29 年度 月 別 消 防 訓 練 指 導 回 数 表

実施主体別 月 別	合 計	自 治 会	事 業 所	学 保 育 校 園	そ の 他
合 計	148	22	90	34	2
4 月	6		6		
5 月	7	1	5		1
6 月	23	2	11	10	
7 月	9	5	4		
8 月	3		2	1	
9 月	9		8	1	
10 月	34	3	16	15	
11 月	27	6	18	3	
12 月	7	3	3	1	
1 月	8	1	6		1
2 月	5	1	3	1	
3 月	10		8	2	

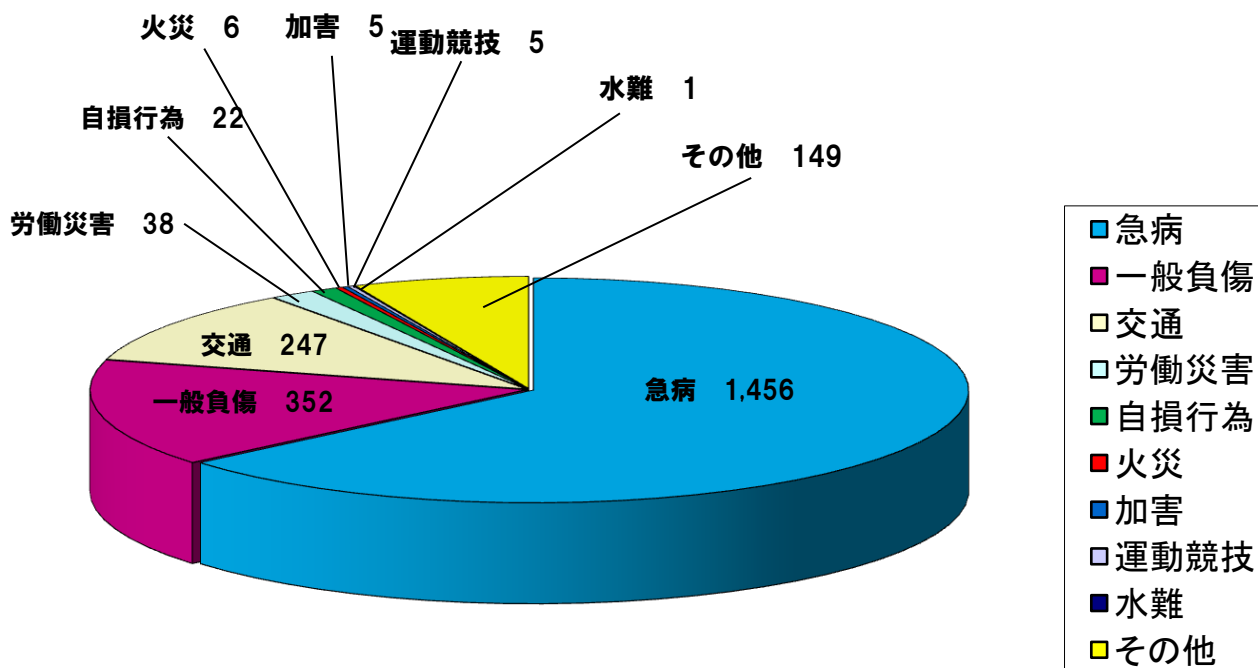
救 急

救 急 出 動 状 況

過去10年間の救急出動件数



平成29年救急種別



年 別 救 急 出 動 状 況 表

事故別		年別									
		平成 20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
合 計	出動件数	1,581	1,565	1,842	1,937	1,923	2,114	2,042	2,017	2,199	2,281
	搬送人員	1,540	1,551	1,809	1,897	1,863	2,065	1,931	1,907	2,113	2,174
交通事故	出動件数	263	226	291	275	266	289	274	252	239	247
	搬送人員	304	278	334	322	304	337	293	258	251	261
急 病	出動件数	958	969	1,130	1,155	1,167	1,275	1,264	1,270	1,454	1,456
	搬送人員	893	921	1,071	1,089	1,092	1,211	1,183	1,189	1,387	1,371
一般負傷	出動件数	209	217	244	312	298	358	316	303	324	352
	搬送人員	201	213	232	300	286	340	296	286	309	341
労働災害	出動件数	24	32	23	26	29	26	36	22	22	38
	搬送人員	25	33	23	26	29	25	34	21	22	35
自損行為	出動件数	24	23	20	18	20	22	23	15	19	22
	搬送人員	17	13	15	11	12	15	13	10	13	13
加 害	出動件数	11	3	4	10	10	9	10	8	8	5
	搬送人員	11	2	4	9	8	8	8	8	7	2
運動競技	出動件数	4	8	10	12	11	12	15	11	6	5
	搬送人員	4	7	10	12	12	14	15	10	6	5
水 難	出動件数	1	2							1	1
	搬送人員		1							1	1
火 災	出動件数	2		1	1	3	8	8	6	8	6
	搬送人員	2		1		3	4	1		3	1
自然災害	出動件数					1			2		
	搬送人員										
そ の 他	出動件数	85	85	119	128	118	115	96	128	118	149
	搬送人員	83	83	119	128	117	111	88	125	114	144

平成 29 年 月 別 救 急 出 動 件 数 表

月別	区分	事故別 合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
													小計	転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他
合	出動件数	2,281	6		1	247	38	5	352	5	22	1,456	149	144			5
	搬送件数	2,127	1		1	217	35	5	338	2	13	1,371	144	144			
	不搬送件数	154	5			30	3		14	3	9	85	5				5
	搬送人員	2,174	1		1	261	35	5	341	2	13	1,371	144	144			
1月	出動件数	207				30	1		26		3	138	9	9			
	搬送人員	202				34	1		24		3	131	9	9			
2月	出動件数	183				11	7		38		1	111	15	15			
	搬送人員	175				12	5		37		1	105	15	15			
3月	出動件数	206	2			17	2		26		3	133	23	21			2
	搬送人員	188				16	2		24			125	21	21			
4月	出動件数	163				15	2		28	1	4	103	10	10			
	搬送人員	155				18	2		28		2	95	10	10			
5月	出動件数	172				19	2		33	1	1	102	14	14			
	搬送人員	169				21	2		33	1		98	14	14			
6月	出動件数	180	1			29	1	1	28		4	105	11	11			
	搬送人員	176	1			32	1	1	26		3	101	11	11			
7月	出動件数	214			1	16	2	2	35		2	145	11	11			
	搬送人員	201			1	14	2	2	35		2	134	11	11			
8月	出動件数	186				22	7	1	34			118	4	4			
	搬送人員	180				24	6	1	33			112	4	4			
9月	出動件数	184				20	4		23			123	14	13			1
	搬送人員	176				21	4		22			116	13	13			
10月	出動件数	193	2			27	3		31		2	118	10	10			
	搬送人員	179				25	3		31		1	109	10	10			
11月	出動件数	211				31	5	1	21	3	2	137	11	10			1
	搬送人員	200				32	5	1	20	1	1	130	10	10			
12月	出動件数	182	1			10	2		29			123	17	16			1
	搬送人員	173				12	2		28			115	16	16			

平成 29 年 時 間 帯 別 救 急 出 動 件 数 表

事故別 時刻別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 為 害	急 病	そ の 他
合計	2,281	6	0	1	247	38	5	352	5	22	1,456	149
0～2未満	106	1			8	1		9		1	82	4
2～4 "	90				12	1		10			67	
4～6 "	75				7			10			57	1
6～8 "	177				30	3		26		1	116	1
8～10 "	303				25	7		50		4	190	27
10～12 "	271	1			32	5	3	50	2	3	136	39
12～14 "	230				26	5	1	38		2	139	19
14～16 "	235	1			25	7	1	32		2	145	22
16～18 "	228			1	25	4		35	2	4	141	16
18～20 "	226				32	3		42		2	138	9
20～22 "	193	1			15	1		33		2	138	3
22～24 "	147	2			10	1		17	1	1	107	8

平成 29 年 応 急 処 置 別 件 数 表

事故別 応急処置別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
合 計	8,982 (158)	5,687 (104)	1,144 (20)	1,368 (18)	783 (16)
止 血	48 (1)	7 (1)	8	24	9
固 定	360 (2)	12	199 (1)	118 (1)	31
人工呼吸	14	8	2	2	2
心臓マッサージ	3	3			
心肺蘇生	73	54	4	6	9
酸素吸入	507	378	37	36	56
気道確保	99	76	6	8	9
保 温	48	32	5	7	4
被 覆	161 (3)	8	53 (2)	86 (1)	14
在宅療法継続	26 (1)	24 (1)		1	1
ショックパンツ	0				
除細動	3	3			
静脈路確保	48	33	7	5	3
薬剤投与	7	6		1	
血圧測定	2,060 (41)	1,294 (26)	249 (7)	328 (5)	189 (3)
心音・呼吸音聴取	450 (6)	337 (4)	59 (1)	31 (1)	23
血中酸素測定	2,089 (43)	1,311 (27)	252 (7)	335 (6)	191 (3)
心電図	986 (31)	772 (24)	65	71	78 (7)
血糖値測定	32	30	1	1	
エピペン投与	0				
ブドウ糖投与	7	6	1		
その他	1,961 (30)	1,293 (21)	196 (2)	308 (4)	164 (3)
応 急 処 置 対 象 人 員	2,165 (73)	1,368 (47)	257 (9)	339 (7)	201 (10)

()内は不搬送の場合の現場応急処置件数

平成 2 9 年 年 令 別 搬 送 人 員 表

事故別 年令別	合	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
	計	災	然 災 害	難	通 事 故	働 災 害	動 競 技	般 負 傷	害	損 行 為	病	の 他
合 計	2,174	1	0	1	261	35	5	341	2	13	1,371	144
新 生 児 (生後28日以下)	3										2	1
乳 幼 児 (生後29日～6才)	123				9			26			79	9
少 年 (7才～17才)	76				22		2	17			31	4
成 人 (18才～64才)	749	1			188	32	3	77	1	11	405	31
高 齢 者 (65才以上)	1,223			1	42	3		221	1	2	854	99

平成29年度月別救命講習参加人員表

講習区分別 月別	合計	一般	普通救命	上級	普及員
合計	2,156	982	1,146	0	28
平成29年4月	76	35	41		
5月	110	70	40		
6月	802	473	329		
7月	445	185	260		
8月	35		35		
9月	255	1	254		
10月	60	51	9		
11月	134	59	47		28
12月	20		20		
平成30年1月	109	64	45		
2月	44	44			
3月	66		66		

通信・指令

通 信 指 令 業 務 の 概 要

情報指令課は、「消防緊急通報システム」を駆使した119番の受付、災害地点の特定、災害規模に対応した出動隊の編成等を迅速かつ的確に行うほか、各出動車両に支援情報等を送り、複雑多様化するさまざまな災害に的確に対処しています。



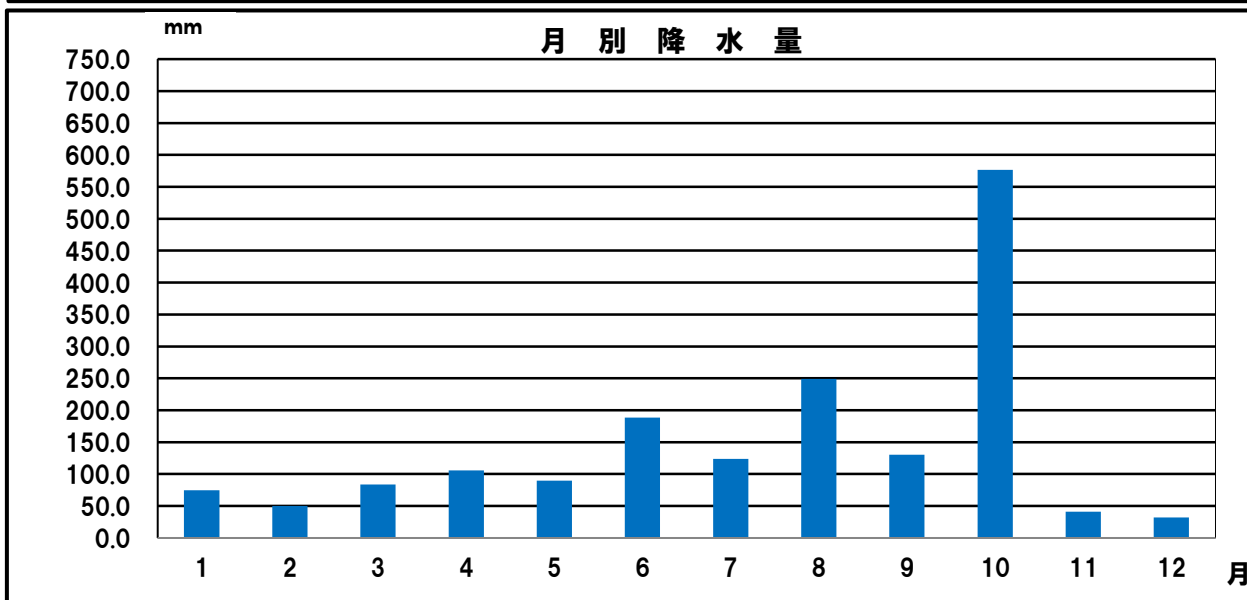
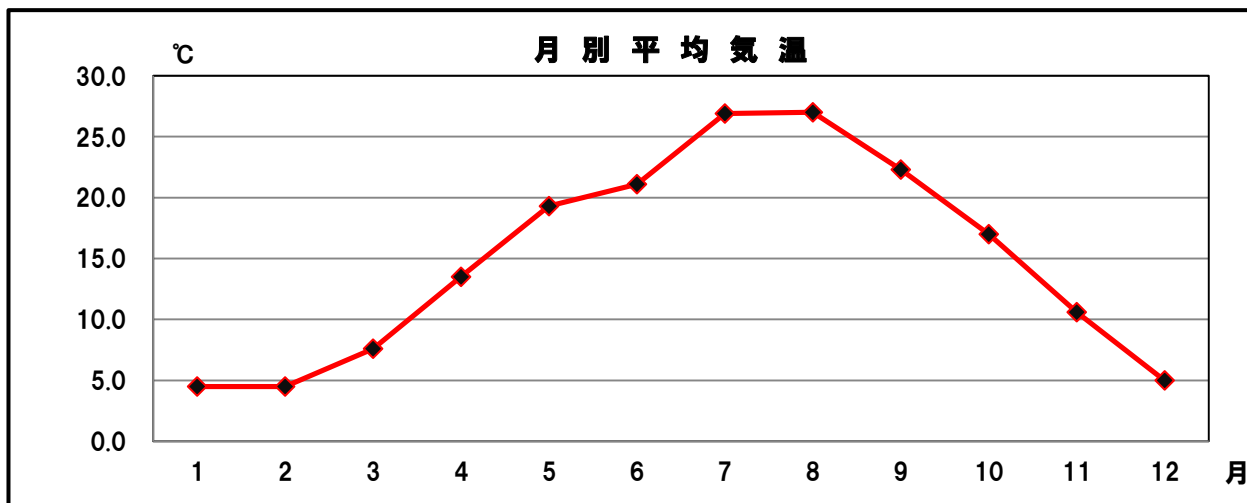
また、出動車両の位置情報や、運行状況を表示する「車両運用管理装置（AVM：Automatic Vehicle Monitor）」の導入により、災害発生地点から最も近い消防車や救急車に出動指令を送ることが可能となりました。



平成 29 年 月 別 気 象 状 況

	主たる風向	風速 (m/s)		気温 (°C)			湿度 (%)		降水量 (mm)
		平均	最大瞬間	平均	最高	最低	平均	最低	
1月	西北西	4.6	26.9	4.5	16.3	-2.7	74.5	30.2	74.5
2月	西北西	4.5	29.3	4.5	17.2	-2.4	77.1	26.1	50.0
3月	西北西	4.0	24.1	7.6	19.7	-2.1	71.0	20.0	83.5
4月	西北西	3.6	24.1	13.5	26.2	2.4	73.4	23.3	105.5
5月	西北西	2.9	15.9	19.3	33.0	9.4	72.8	19.4	89.5
6月	西北西	3.7	21.4	21.1	33.7	12.7	74.4	17.7	188.5
7月	西北西	2.4	15.7	26.9	35.4	20.6	85.7	43.8	123.5
8月	西北西	3.3	28.3	27.0	36.6	20.9	83.8	38.8	249.0
9月	西北西	3.4	32.9	22.3	32.3	13.7	80.6	34.7	130.5
10月	西北西	3.2	38.6	17.0	31.4	6.8	86.8	34.9	576.5
11月	西北西	3.2	21.2	10.6	24.0	0.0	78.8	33.3	41.0
12月	西北西	4.2	25.1	5.0	17.2	-1.8	76.3	35.5	32.0
平均	西北西	3.6		14.9			77.9		145.3

※各項目の最大（最高）値を赤で、最小（最低）値を青で記載しています。



年 別 気 象

年	気温の最高最低記録				年間寒暖日数				
	最 高		最 低		最 高 気 温	最 高 気 温	最 高 気 温	最 低 気 温	平 均 気 温
	記録値(℃)	記録月日	記録値(℃)	記録月日	35℃以上の日 猛暑日	30℃以上の日 真夏日	25℃以上の日 夏日	0℃未満の日 冬日	0℃以下の日
19	37.9	8月16日	-2.8	2月5日	10	44	123	23	0
20	37.6	7月27日	-3.1	1月28日	10	50	67	40	2
21	34.5	7月14日	-5.8	1月16日	0	55	77	30	0
22	36.9	7月22日	-5.0	2月20日	17	57	46	37	2
23	36.8	8月13日	-5.4	1月14日	6	57	53	56	1
24	35.4	7月27日	-5.7	2月1日	4	46	68	51	2
25	38.9	8月22日	-4.2	1月12日	18	50	70	41	0
26	36.8	7月25日	-4.4	12月28日	3	34	94	40	0
27	37.5	8月1日	-3.6	2月11日	13	31	91	26	0
28	36.4	8月8日	-3.8	1月24日	8	49	76	40	1
29	36.6	8月24日	-2.7	1月15日	5	65	70	36	1

※各項目の最大（最高）値を赤で、最小（最低）値を青で記載しています。

予 防

防 火 対 象 物 一 覧 表

(H30. 3. 31現在)

防火対象物の別			施行令第6条による防火対象物	防火管理者を必要とする防火対象物	
				甲種	乙種
1	イ	劇場・映画館・観覧場	1	1	0
	ロ	公会堂・集会場	102	17	76
2	イ	キャバレー・カフェー等	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	2	0
	ハ	風俗営業等の店舗	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	1	1	0
3	イ	待合・料理店の類	1	0	1
	ロ	飲食店	59	9	27
4		百貨店・マーケット等	99	31	14
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	21	17	0
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	384	39	3
6	イ	病院・診療所・助産所	30	10	1
	ロ	養護施設・児童福祉施設	35	24	0
	ハ	老人サービス等	43	17	2
	ニ	幼稚園・養護学校	8	8	0
7		小・中・高・大学・各種学校	89	28	16
8		図書館	4	2	0
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	0
	ロ	公衆浴場	1	0	0
10		停車場	4	0	0
11		神社・寺院・教会の類	33	2	1
12	イ	工場・作業場	545	28	1
	ロ	映画・テレビスタジオ	0	0	0
13	イ	車庫・駐車場	48	0	0
	ロ	飛行機等の格納庫	0	0	0
14		倉庫	375	0	0
15		前各項に該当しない事業所	437	31	19
16	イ	特定複合用途建築物	189	87	30
	ロ	その他の複合用途建築物	104	6	4
17		文化財等の建造物	11	3	2
18		延長50m以上のアーケード	1	0	0
合 計			2,628	363	197

平成29年度各種届出処理状況

(H29.4.1~H30.3.31)

区分	件数
建築同意件数	76
消防用設備等着工届	75
消防用設備等設置届	98
防火対象物使用開始届	47
消防計画	70
防火管理者選解任届	98
乾燥設備	2
炉	1
厨房設備	0
ボイラ一設備	6
給湯湯沸設備	0
変電設備	10
発電設備	4
サウナ設備	0
蓄電池設備	6
ネオン管灯設備	0
り災証明交付数	24
喫煙・裸火の使用等	4
火災とまぎらわしい行為	184
煙火打上	28
道路交通障害	731
水道の断水	0
催物開催	4
少量危険物	24
指定可燃物	3
液化石油ガス	16
合計	1,502

年度別危険物製造所等の施設推移状況（完成検査済）

（H30.3.31現在）

製造所等		年度別				
		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
合 計		364	358	349	349	344
製 造 所		2	2	2	2	2
貯蔵所	屋内貯蔵所	48	48	47	48	49
	屋外タンク貯蔵所	68	68	68	68	66
	屋内タンク貯蔵所	42	42	42	42	42
	地下タンク貯蔵所	52	50	47	45	43
	簡易タンク貯蔵所	0	0	0	0	0
	移動タンク貯蔵所	12	11	9	8	8
	屋外貯蔵所	16	16	10	9	8
取扱所	給油取扱所	55	55	55	55	54
	販売取扱所	0	0	0	0	0
	一般取扱所	69	66	69	72	72

平成29年度危険物製造所等申請・届出処理状況

(H29.4.1~H30.3.31)

区分	月別												
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	232	29	24	16	21	27	9	27	25	18	8	13	15
許可 (設置・変更)	55	8	5	5	8	2	1	5	7	7	1	3	3
完成検査 (設置・変更)	50		7	3	5	9	3	6	4	1	5	3	4
仮使用承認申請書	53	6	5	5	5	5	1	5	7	6	1	4	3
仮貯蔵仮取扱承認 申請書	3									2		1	
完成検査前検査申請書	0												
保安監督者 選任・解任届出書	20	4	4	1		2		3	3	2			1
設置者の氏名 変更届出書	16	6	1			1		4			1	1	2
譲渡引渡届出書	0												
予防規程認可申請書	5	1		1		1		1	1				
品名、数量又は指定数量の 倍数変更届出書	4					3		1					
廃止届出書	6			1	1				2				2
休止届出書	0												
資料提出書	20	4	2		2	4	4	2	1			1	
危険作業開始届出書	0												
危険物事故発生届	0												
在庫管理計画書	0												
完成検査済証 再交付申請書	0												

◎住宅用火災警報器設置済シール交付事業について

亀山市消防本部では、消防職員や消防団員が戸別訪問を実施し、条例に適合している住宅に対して設置済シールを交付しています。この設置済シールを玄関先に表示することで、住宅用火災警報器の設置促進とともに地域の防火意識の向上を図っていますので、ご協力をお願いします。



平成29年度末のシール交付率

78.68%



※ 消防職員や消防団員が住宅用火災警報器を直接販売したり、特定の業者に依頼したりすることはありませんので、ご注意ください。

◎警報が鳴ったときの対処法等について



火災の時

警報音が鳴り、火災を見つけたら、周りに大声で知らせ、119番通報しましょう。

そして、避難しましょう。また、可能なら初期消火をしましょう。

火災でない時

警報音停止ボタンを押すか、室内の換気をするとう警報音は止まります。

燻煙式殺虫剤、ホコリや小さな虫、台所に煙があるときに鳴ります。

調理時に発生する大量の煙や湯気に注意してください。

電池切れの時

電池を新しいものに交換してください。(電池の寿命は約10年)

電池の交換ができないタイプの機器は、本体を取替えましょう。



◎新しい火災警報器に交換したら

本体の側面などに、油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。

定期的にボタンを押す又はひもを引いて、家族で警報器を確認しましょう。

※ 住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなる可能性があるため、**とても危険**です。10年を目安に交換しましょう。

幼少年・女性防火委員会加入団体一覧表

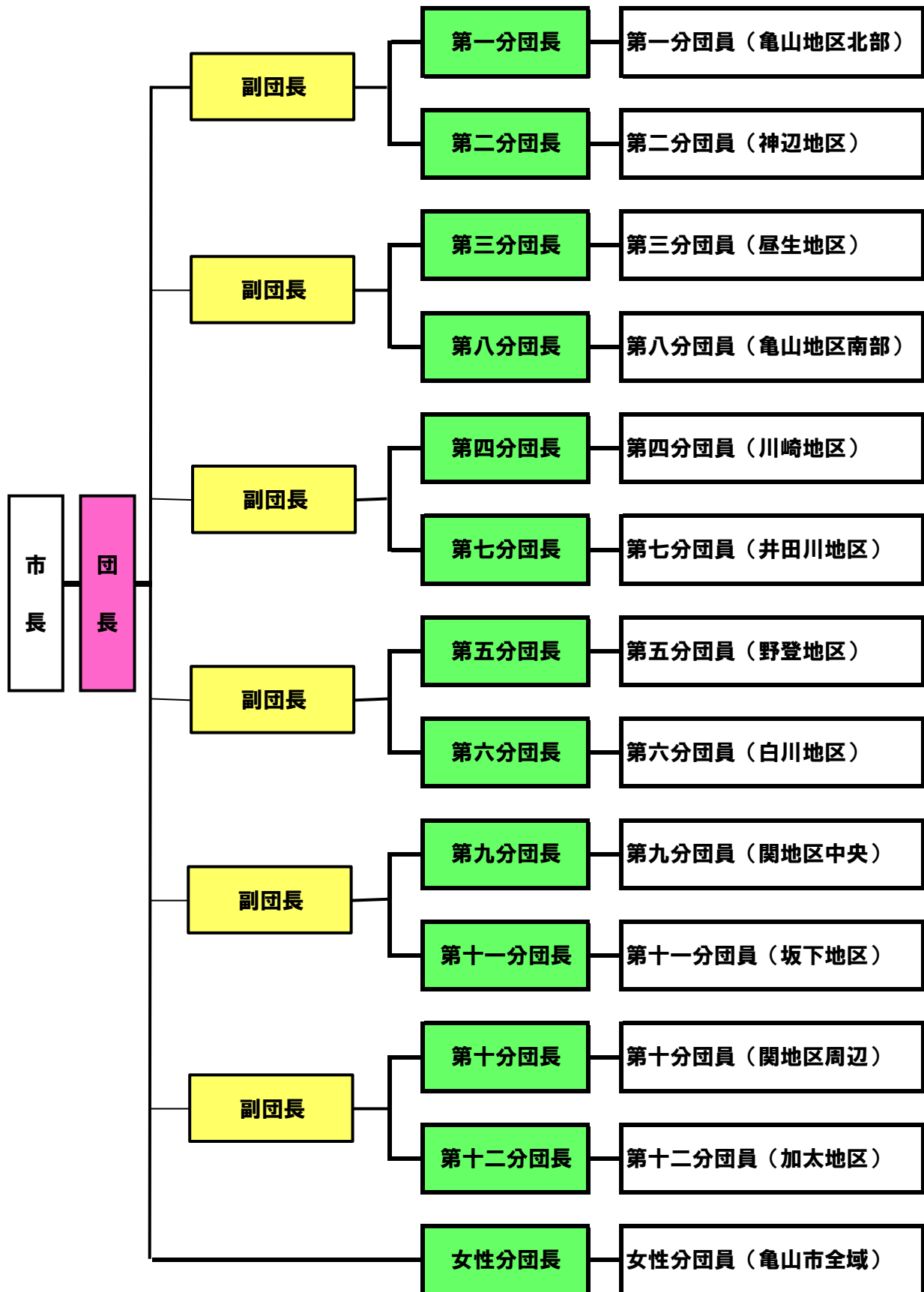
(H30.3.31現在)

クラブ名称	クラブ員数	結成年月日
亀山愛児園幼年消防クラブ	86	昭和59年12月1日
亀山市第三愛護園幼年消防クラブ	22	昭和59年12月1日
川崎愛児園幼年消防クラブ	63	昭和59年12月1日
池山女性防火クラブ	6	昭和63年7月1日
安楽女性防火クラブ	10	昭和63年7月1日
原尾女性防火クラブ	9	昭和63年7月1日
辺法寺女性防火クラブ	13	昭和63年7月1日
小川女性防火クラブ	17	平成6年6月1日
楠平尾女性防火クラブ	1	平成8年4月1日
CEFみずほ台女性防火クラブ	17	平成22年4月1日
亀山市少年消防クラブ	22	平成24年4月1日
合計	266	

消 防 団

消 防 団 組 織 図

定員415名
 実員400名（平成30年4月1日現在）



歴代消防団長一覧表

旧亀山市 (合併前)

氏名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
伊藤 栄二郎	明治42年10月13日	昭和30年5月1日	14年5か月
		昭和44年10月10日	
一見 忠夫	大正2年7月9日	昭和44年12月1日	11年4か月
		昭和56年3月31日	
村山 守	昭和6年8月7日	昭和56年4月1日	10年0か月
		平成3年3月31日	
鈴木 吉男	大正13年2月25日	平成3年4月1日	6年7か月
		平成9年10月31日	
葛西 行弘	昭和10年10月30日	平成9年11月1日	7年2か月
		平成17年1月10日	

旧関町

氏名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
山内 喜久夫	大正2年5月24日	昭和30年4月17日	4年9か月
		昭和35年1月27日	
吉沢 利信	大正3年3月26日	昭和35年1月28日	11年3か月
		昭和46年4月30日	
松林 孝太郎	大正15年3月1日	昭和46年5月1日	5年9か月
		昭和52年1月31日	
川戸 薫	昭和3年1月3日	昭和52年2月1日	18年2か月
		平成7年3月31日	
山内 克巳	昭和11年5月25日	平成7年4月1日	6年0か月
		平成13年3月31日	
落合 秀史	昭和12年12月4日	平成13年4月1日	3年9か月
		平成17年1月10日	

亀山市 (合併後)

氏名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
葛西 行弘	昭和10年10月30日	平成17年1月11日	8年3か月
		平成25年3月31日	
松尾 幸夫	昭和22年10月1日	平成25年4月1日	5年0か月
		現在に至る	

消 防 団 員 配 置 表

(H30. 4. 1 現在)

階級別 組織別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
実 員	400	1	6	13	26	44	46	264
団 本 部	7	1	6					
第 一 分 団	28			1	2	4	3	18
第 二 分 団	32			1	2	4	5	20
第 三 分 団	33			1	2	4	3	23
第 四 分 団	40			1	2	4	5	28
第 五 分 団	40			1	2	4	6	27
第 六 分 団	34			1	2	4	4	23
第 七 分 団	22			1	2	2	2	15
第 八 分 団	24			1	2	2	2	17
第 九 分 団	36			1	2	4	4	25
第 十 分 団	39			1	2	4	4	28
第 十 一 分 団	19			1	2	3	3	10
第 十 二 分 団	29			1	2	3	3	20
女 性 分 団	17			1	2	2	2	10

消 防 団 員 年 令 表

(H29. 4. 1 現在)

階級別 年齢別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	400	1	6	13	26	44	46	264
平均年齢	44.1	70.0	66.8	57.5	53.3	50.5	45.9	40.6
18才	0							
19才	3							3
20才	1							1
21才	0							
22才	2							2
23才	1							1
24才	2							2
25才	3							3
26才	5							5
27才	3							3
28才	4							4
29才	3							3
30才	3							3
31才	6						1	5
32才	8							8
33才	1							1
34才	13							13
35才	4							4
36才	6						1	5
37才	15						1	14
38才	11						4	7
39才	13						2	11
40才	26						2	24
41才	24				1	1	1	21
42才	19					1	2	16
43才	16					1	1	14
44才	21			1		2	4	14
45才	18					2	5	11
46才	20				2	3	3	12
47才	14		1		2	3	2	6
48才	16			1	1	5	1	8
49才	10					2	2	6
50才	13					2	3	8
51才	11					2	3	6
52才	14				5	3	2	4
53才	20			2	6	5	1	6
54才	6				1	3	1	1
55才	8			2	1	1	1	3
56才	2					2		
57才	6			2	2	2		
58才	2					2		
59才	5				1	2	2	
60才	3							3
61才	2				1		1	
62才	1			1				
63才	4			1	2			1
64才	2				1			1
65才以上	10	1	5	3				1

消 防 団 車 両 等 一 覧 表

消防ポンプ自動車
年式 平成26年

水槽付消防ポンプ自動車が進入困難な道路狭隘地域に容易に進入することが可能で、早期に火災現場直近の水利を確保し、放水体制を整えることが可能です。



小型動力ポンプ付積載車
年式 平成27年

小型のトラックに小型動力ポンプ（可搬ポンプ）を積んだ車両です。消防団車両に多く配備されています。



小型動力ポンプ付積載軽四輪車

年式 平成27年

軽自動車に小型動力ポンプ（可搬ポンプ）を積んだ車両です。消防団車両で現在市内に女性分団車両を含め5台配備されています。



山林火災用軽四輪車

年式 平成10年

水槽付消防ポンプ自動車や、消防ポンプ自動車が進入困難な山道、林道に容易に進入することが可能で、山間部の多い亀山市では活躍しています。



小型動力ポンプ付台車

年式 平成23年

小型動力ポンプ付台車は、容易に操作ができ消防自動車が登場前に、早期に火災現場直近の水利を確保し、放水体制を整えることが可能です。



亀山市消防の歌

歌詞 滝田常晴
作曲 青木玲二

大らかに力強く

すずか やまなみ くもあーお く
あゆみゆ かしい ふるさーとーの
ぶんかをまもる このしめい いざことあらば さきがけて お
おかめ やまし しょうぼうわれ ら

亀山市消防の歌

作詞 滝田常晴
作曲 青木玲二

一、 鈴鹿やまなみ 雲青く

歴史ゆかしい ふるさとの
文化を守る この使命
いざことあらば さきがけて
おお亀山市消防 われら

二、 火にも水にも たゆみなく

つねに備えて はらからの
生命を守る この力
団結固く こぞりたつ
おお亀山市消防 われら

三、 進む時代に たくましく

究める道は 遠くとも
みがき鍛えて さえる技術
誇りも高く 光り呼ぶ
おお亀山市消防 われら